
2
首を斬らねば分かるまい
原作：門馬 司
漫画：奏ヨシキ


しまった……
想いが抑えきれず
僕は……
なんてことを――

第八話 走れぬ馬の価値



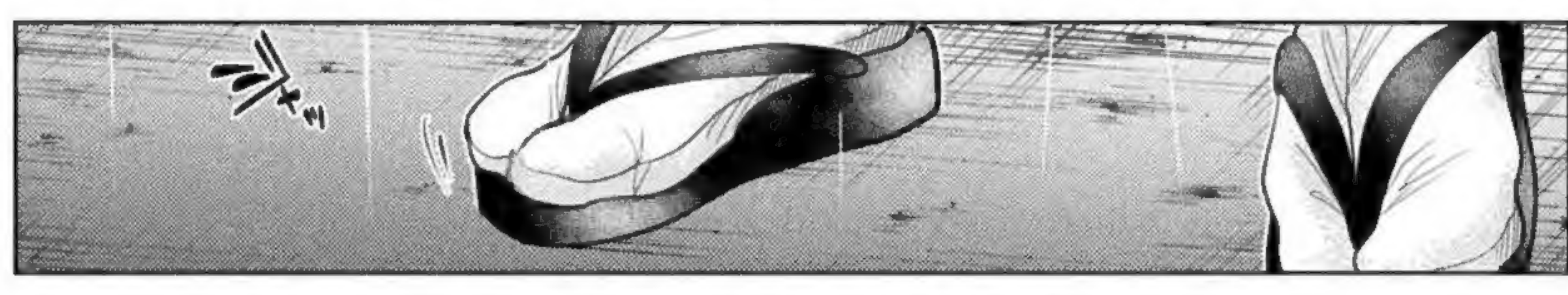





私は
怖いのだ
己の呪われた運命を知りながらその実
この手が血に濡れる事が怖い
刀を振らぬ事が
怖い



私は……
人を斬らずに生きていけるのか？


はっ

ジャッ

…くだらん与太話だったな
忘れてくれ

今度こんな騙し討ちのようなまねをしたら
ただでは済まさんぞ

ポツ
ポツ…





押すな!
ガヤ
見えねぇぞっ
ガヤ
ピシャァァッ
ザカッ


行けえ「青海」!!
招魂社競馬は今年も盛況だな
この「招魂社」は現在の靖国神社であり

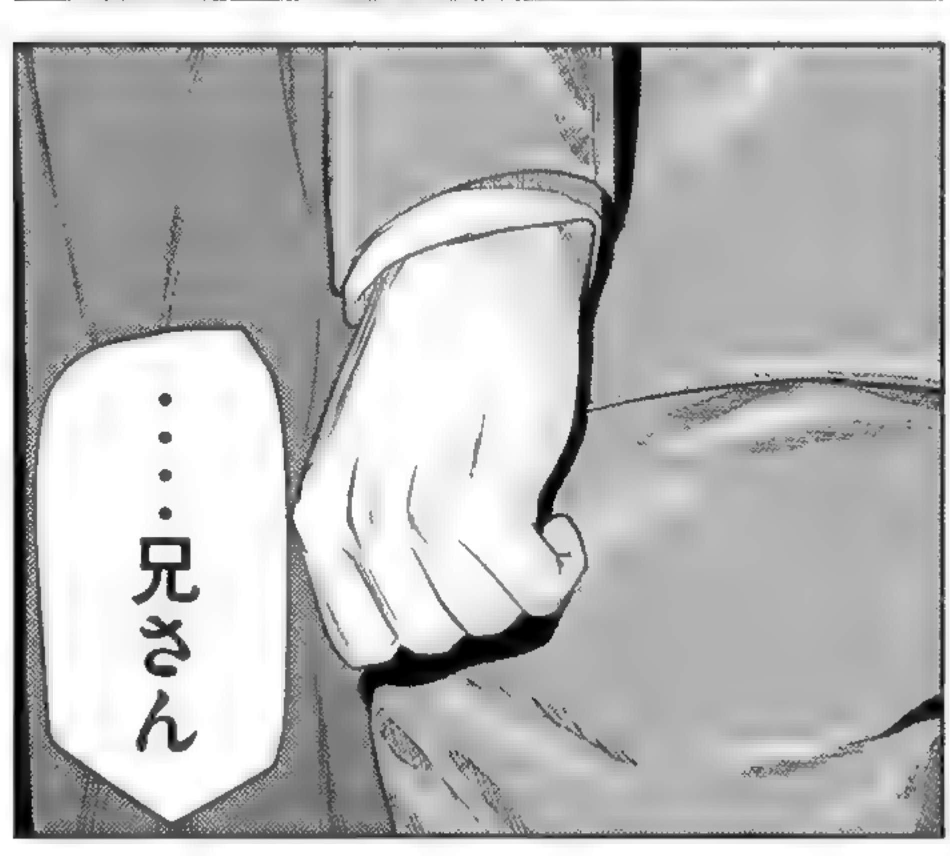

ワァァァァ
明治中頃まで
年三回
大規模な競馬が
行われていた
軍馬強化
という一面もある
この催しは
政界 財界の上流階級が
多く集まったとされる
それで‥‥


どうだったんだ？
え？
とぼけるな洞門沙夜の事だ

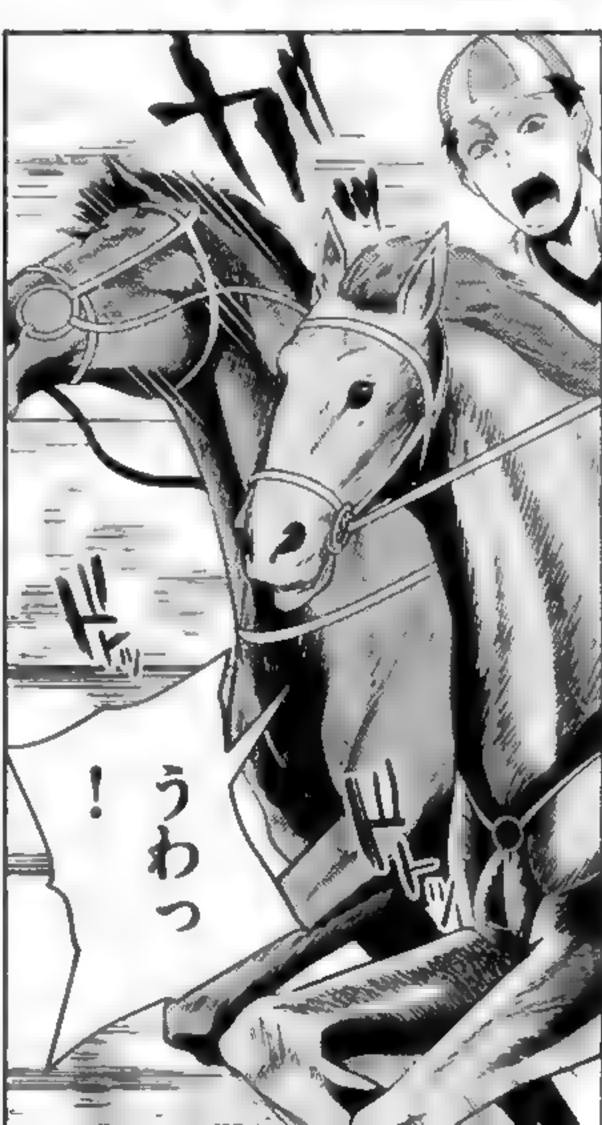

少しはお前に気をやりそうだったか？ん？
………


……彼女は
人を斬らずに生きられるかと僕に問うたよ


！

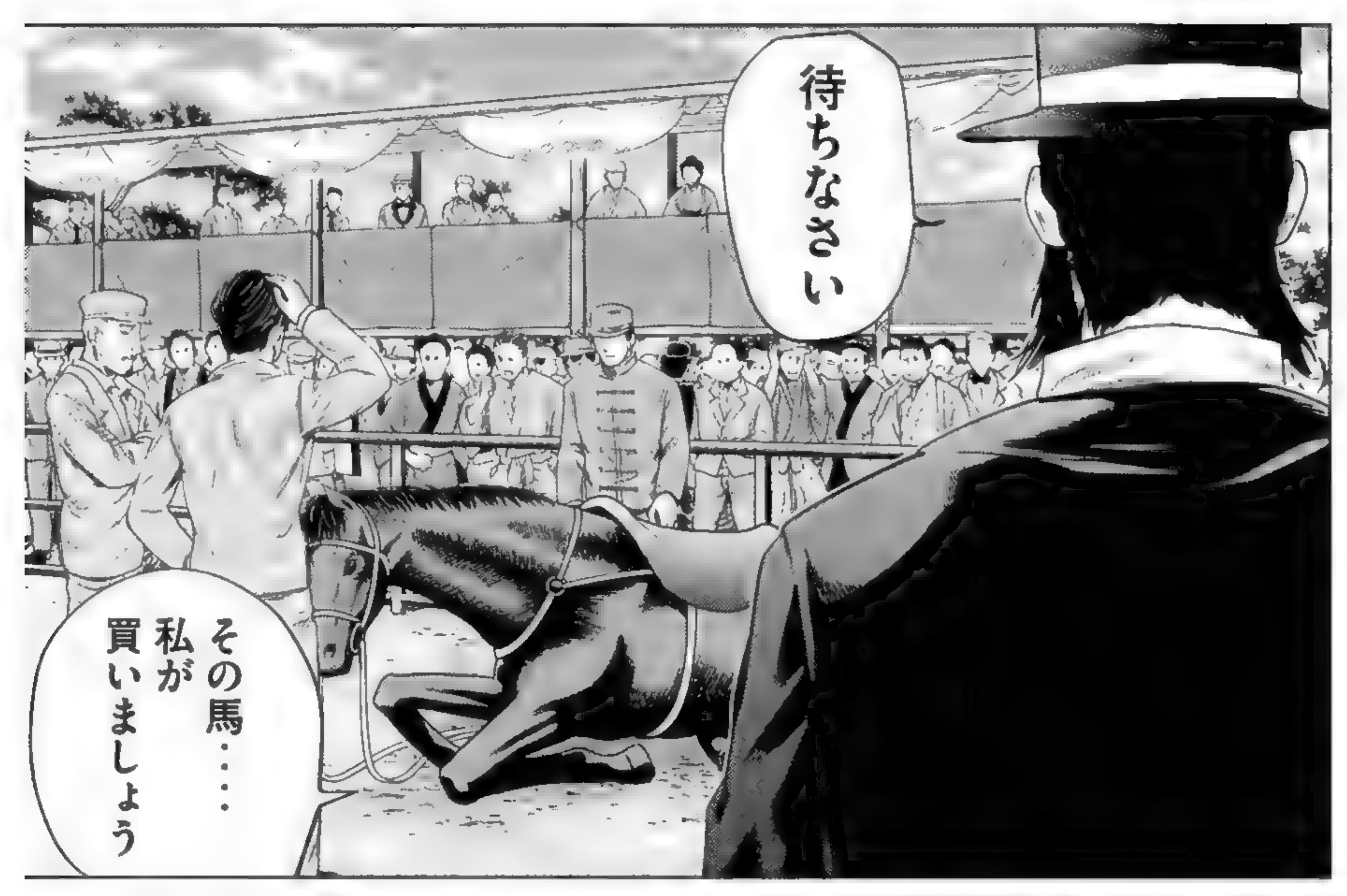

……兄さん


もし刀を
取り上げて
しまえば
彼女の
存在意義は
なくなるのか
……？


ザッ
ドッ
ドッ
うわっ
！

ヒヒィンッ！


ドッ
ああっ落馬だ!!
「島風（しまかぜ）」が倒れた!!
ドッ
ズザザアッ
ワァァ!!
金返せいこのへぼ！
いてて…
やれやれ……こいつは駄目だ
食用として問屋に……
ブルル…
こんなヤワな脚じゃ行事も耐えられまい


待ちなさい
その馬・・・・私が買いましょう


ええ？正気ですかいこんな駄馬


馬車も引けやしませんよ


だが私はこの馬に賭けたのです
倒れる事など許しません




あの人は……!!


私が見つけてみせましょう
走れぬ馬の価値を
ブルルル…


……そういえば……
幸乃助くんも馬がお好きでしたね?
……ええ
……本当に
お久しぶりです


大久保さん
新政府 大蔵卿
大久保 利通
(一蔵)
第八話 終


第九話 答えを持つ場所




こうして
向かい合うのは
幾年ぶりでしょう
さて……
お手並み拝見


相変わらず
お好きですね
ご期待にそえる
腕であれば
いいのですが
……

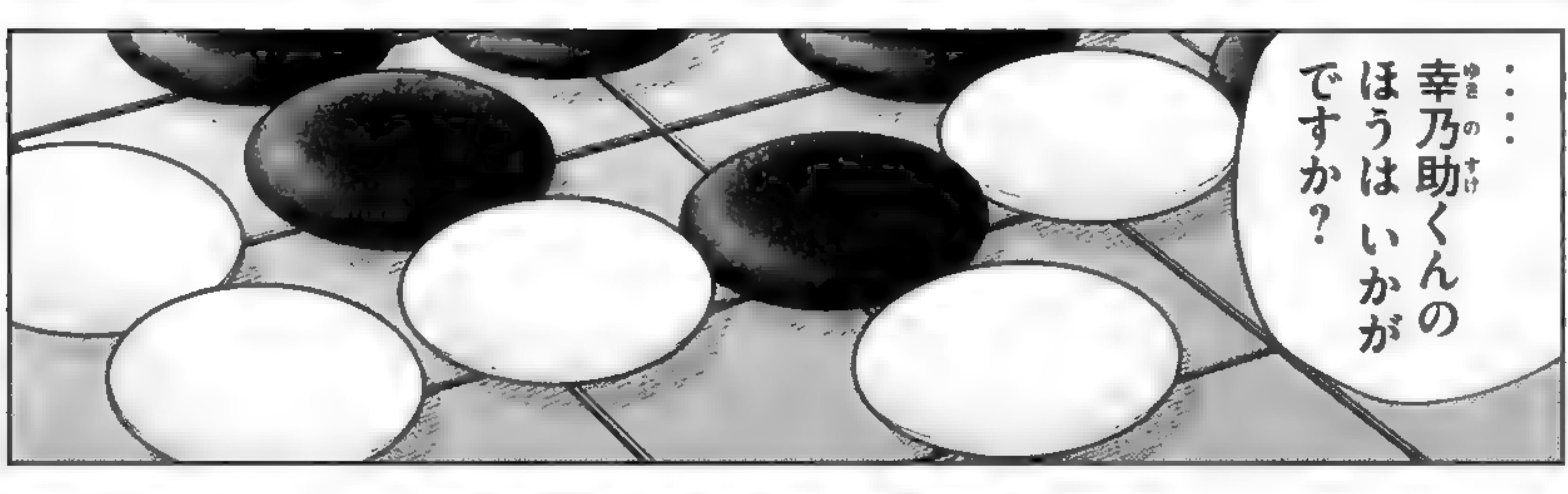

パチン

大蔵卿
大久保利通（一蔵）



※明治四年、新政府は旧制度の藩（諸侯が土地を治める）を廃し府県（国の所有）を置く廃藩置県を行った。


国が借金ごと肩代わりするとなればそう悪い話でもないのですよ
廃藩置県は数百年続く封建制度をぶち壊す大革命であった
一滴の血も流さずこれを成し遂げたのは世界的に見ても日本だけである


…幸乃助くんのほうは いかがですか?

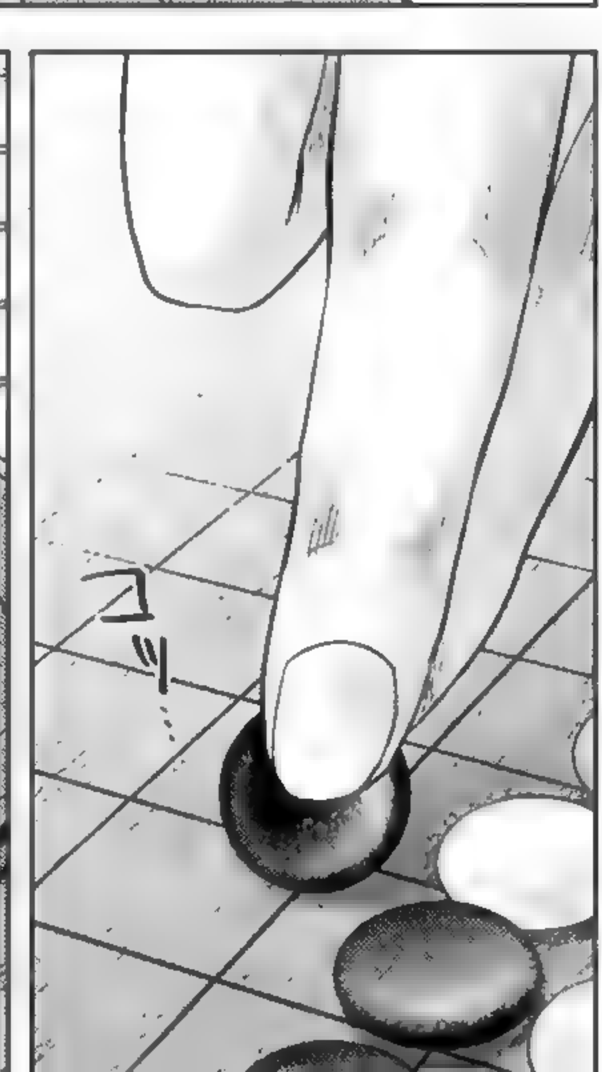


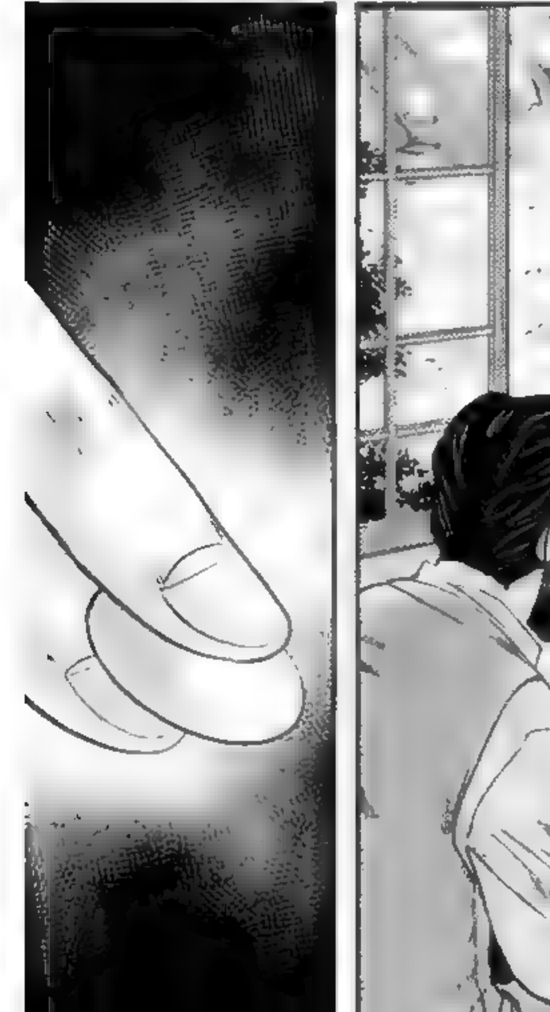

名家の嫡男として生まれ何不自由ない暮らしをし
勉学の才知も申し分ない
そろそろ見つける頃合いでしょう


己の成したい
夢を・・・・
・・・・・・
・・・・
どうしました？
僕は・・・・・
・・・・


迷って
おります
次の手を
忘れ難き
女が・・・・
どうしたら
振り返るか



何を壊さねばならぬのか
変えねばならぬのか……

コツ…

……幸乃助くん


死ねますか



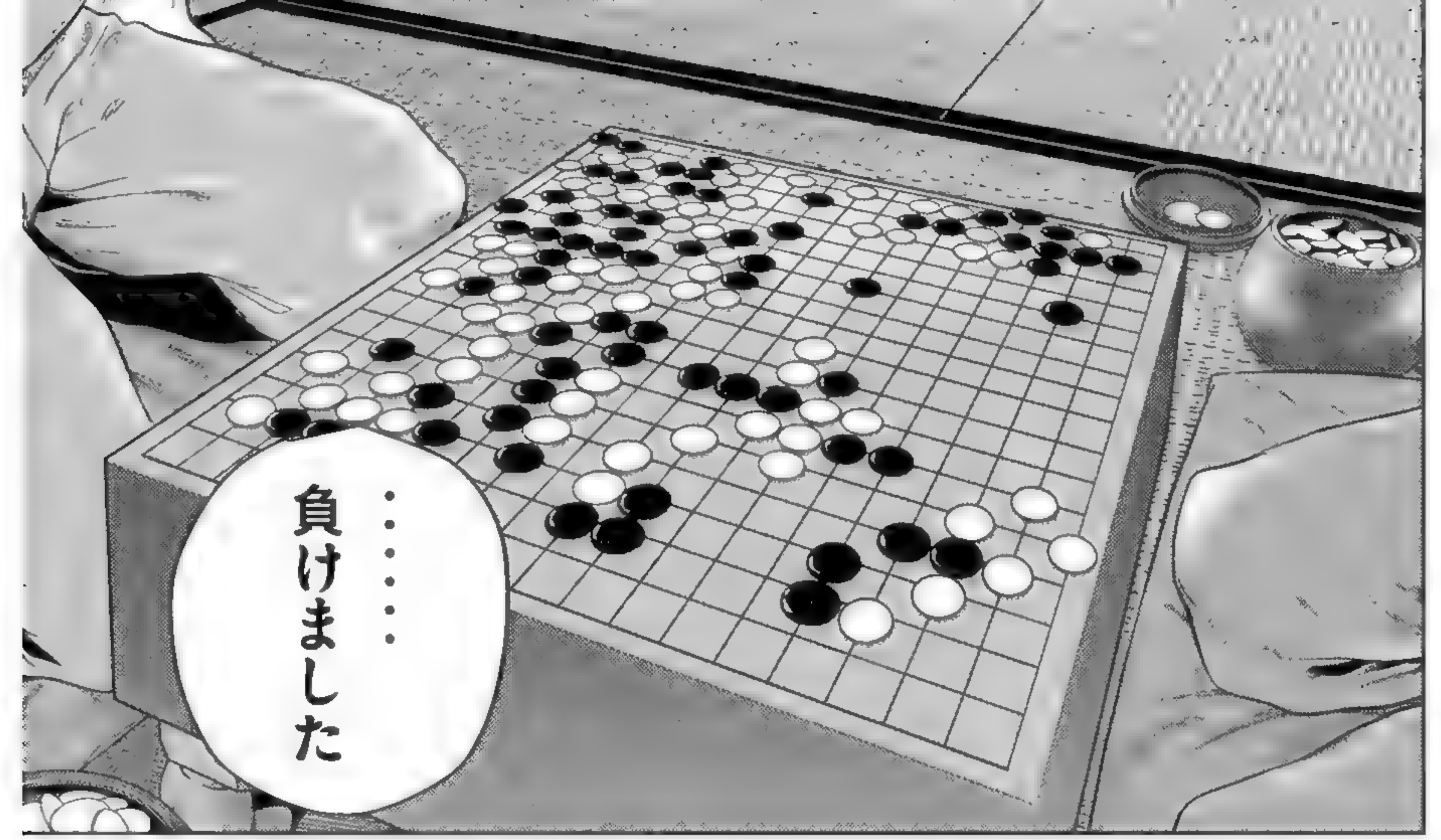
その者のために

死ねますか






時は流れ
世は明治
その命・
如何に使われる
おつもりか


……負けました


はっはっは！いやぁやはり幸乃助くんとの碁は楽しい！
なかなか腕を上げましたな

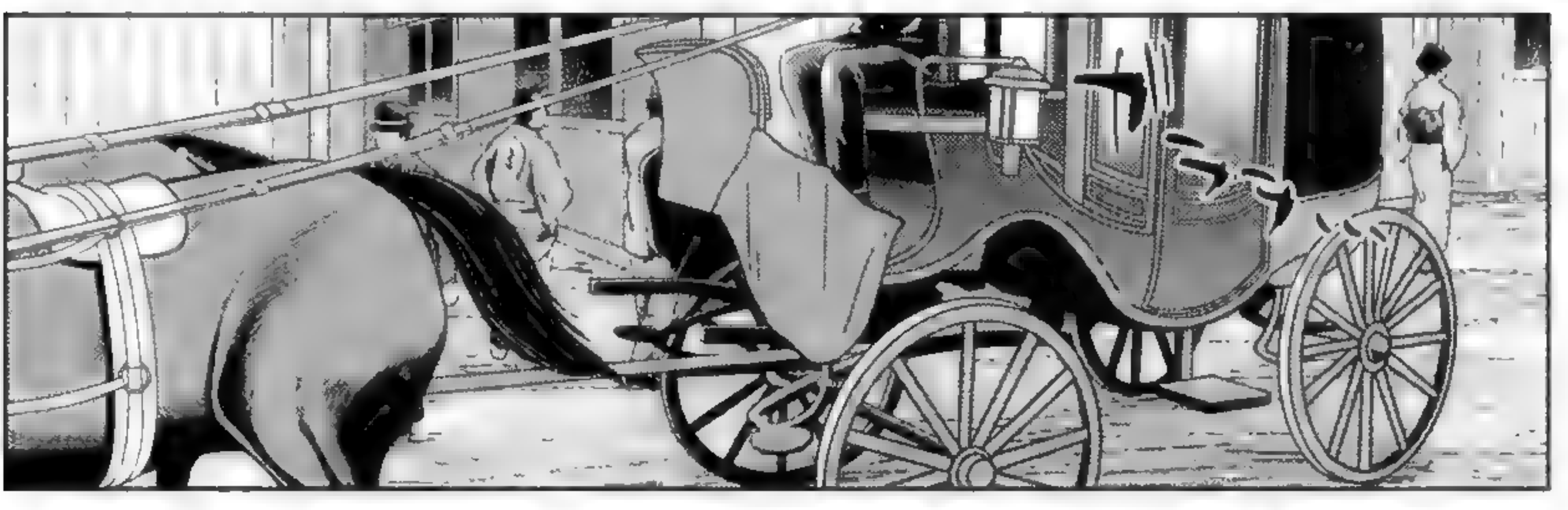

ニッ




スッ

ついて来なさい

君に見せたいものがあります







答えを持つ場所です

！

……そこは……






亜米利加（アメリカ）へ
オオオ



アメリカ……??

岩倉使節団

新政府の誕生まもなく
視察および
条約改正を目的として
欧米各国に旅立った
百名以上の
大旅行団である








信じなさい
この船は君を導いてくれる


明治四年十一月
ボオォォォ…
愛州幸乃助(あいすゆきのすけ)日本を出航!!
第九話 終



ザザザザ
ワァー
ワァー
ワァ
第十話 船中にて
良い船でしょう
名をアメリカ号と
いいます
まったく……
なんと
強引な人だ
だがもはや
泳いで帰る
わけにも
いくまい……
死ねえ
!!

ガハハハ
それい
こちらも
死んだ!!

見たか
※アラビア馬め!!

右大臣
岩倉具視（いわくら ともみ）

※開明派の若手をこう呼んでいた。





相手をするのは
まだ若手である
伊藤博文

しかし腕前は
からっきしの
ザル碁であったと
言われている

工部大輔（こうぶたいふ）
伊藤 博文（いとう ひろぶみ）



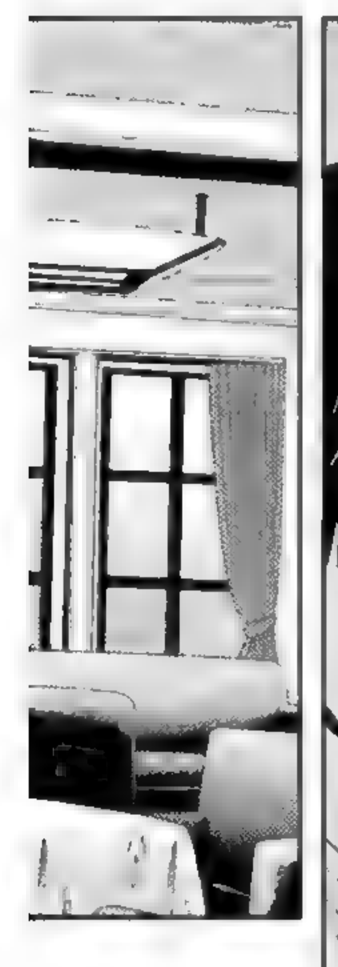



!!!
!
……これは!?
まさか!?

ボタン……？？


……なるほど


おおかた西洋式ズボンの
扱いに慣れていない者の
所業であろう……
我慢できず
ボタンを引きちぎったあげく
トイレの使い方も
わからなかったとみえる




うわぁ 何よ
これはぁ!!
ひえぇ!
おい誰か
呼んでこい!!



諸君(しょくん)!!
我々は日本国を代表する存在であり
この洋行(ようこう)で世界の人々は我々を見て日本人を知る事を忘れてはならない
各自服の着脱法を確認し直し
西洋式トイレの使い方も勉強しておきたまえ
糞(くそ)くらい満足にひれるようにしておくべし!!
この説教は後に「伊藤の糞演説」と冷やかされる事になる

とにもかくにも
西洋を知る日本人
など数少ない
この時代

船旅中から
異文化に困惑しきる
岩倉使節団
一行であったが――

スッ



五稜晴美さん
ぐらいだろう







にこり…

君を連れていきたいと
いう話をしたら
私もぜひと言われててね

いやぁ
勉強熱心な
女性だ！

はっはっは



なんという悪夢（こと）だ・・・・

アメリカに着くまで約ひと月・・・・・・






ぱしっ
やったぁ!!
五匹目よ
君は……


こんにちは
お兄さん!
私…梅!
津田梅子!
女子留学生
津田梅子(六歳)


こんな小さな娘も乗っているのか‥‥
よろしく‥‥愛州幸乃助だ


その魚‥‥どうするんだい？
え？
ぴち
ぴち


洋食ばかりで飽きたから干物にするんですって!!
だから私釣ってあげてるのよ
ったく全部梅に釣られちまうよ


ハハハ！上手なんだね
君は‥‥もしかしてアメリカに留学するのかい？
うん！


船員にはそのまま欧米諸国に留学する者も多くいた
期間はどれくらい？

十年よ





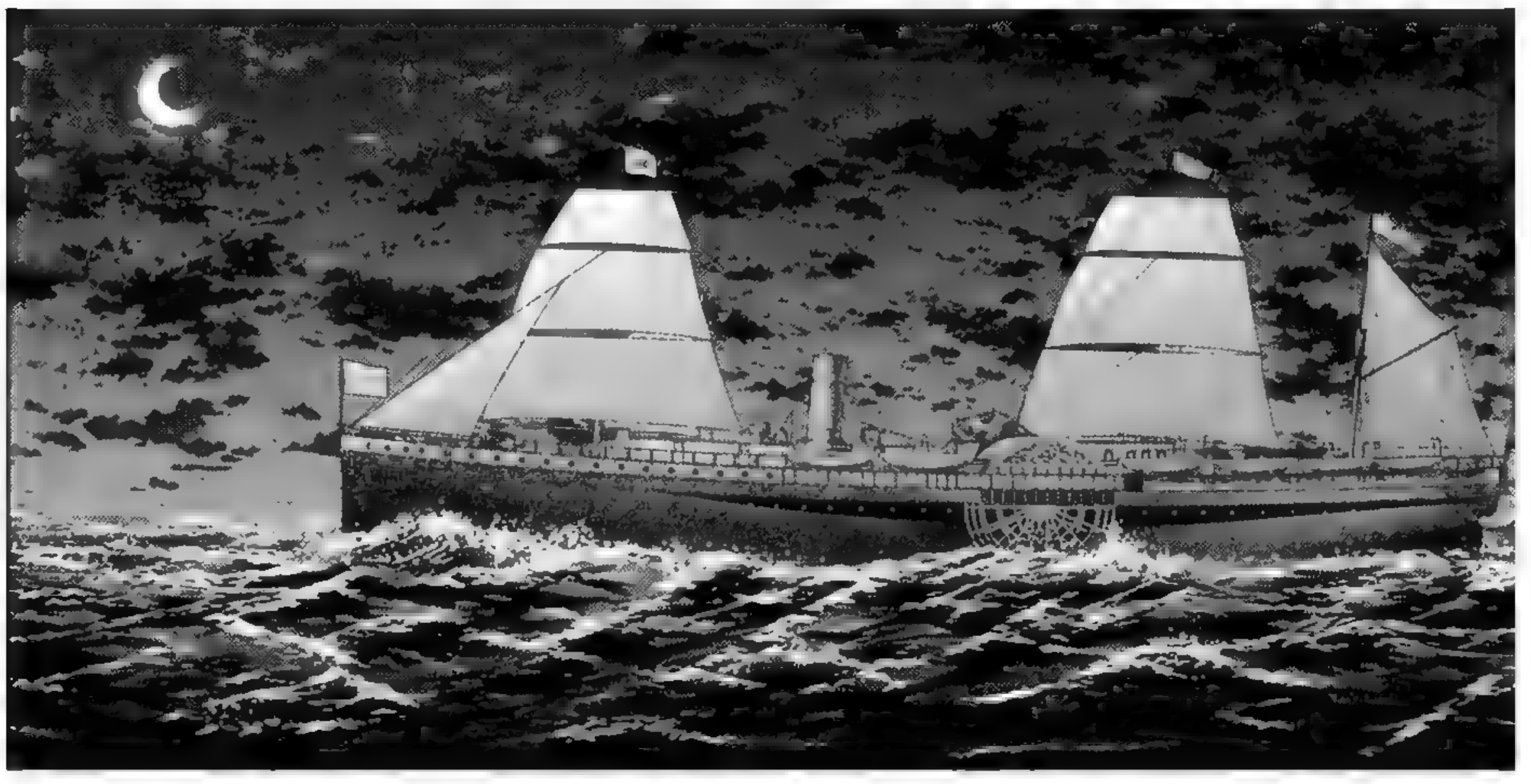
いいえ わくわくするわ!!
だってこんな事 誰もやった事 ないでしょう?





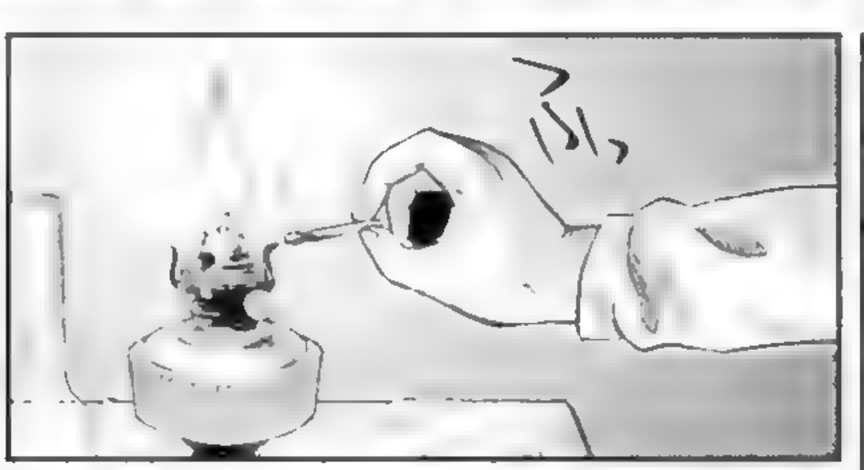


グッ





己の成したい夢は……
死ねますか？
どうしてアメリカに？


ふっ

バサッ



幸乃助さま
はぁ
はぁ…
うわーーーっ!!
ガタァン!!
なっ……
はっ……
晴美さん!?
何を!?


お静かに・・・・
政府の要人も
多く乗っている
船ですわよ
はぁ
はぁ
こんな姿の
・・・・んっ
女子といるところを
見つかっても
よろしくて・・・・？
ぬるっ
トン
トン



第十話 終


ああっ――！
幸乃助さまあっ！
はっ・・・・
晴美さん・・・・・
第十一話　重役会議
やめろっ！
離してくれ
!!
私が大声を
上げますわよ
殿方の部屋に
連れこまれ
この身体を弄ばれた
と・・・・・
――!!
・・・・・・
いいの
ですか？



・・・・・・・!!

ズルル・・・

フフフ・・・・さあ
早くお脱ぎになって

バッ

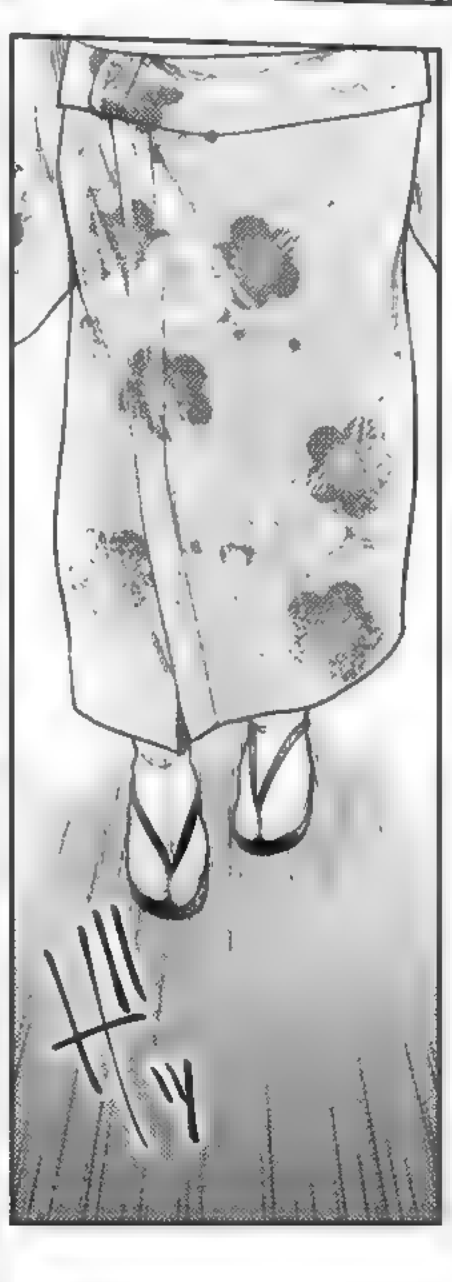






どうして
やめるのですか
？







とても興味がありますわ!!

ぜひここで拝見させていただけませんか!?





「据え膳食わぬは男の恥」だと聞いておりますわよ!!





誠に
眼福である


若いというのは実に輝かしい
しかし船内では皆に冷やかされる事のないよう注意されよ
すみません……ところで用件とは?
アメリカに着く前に少し会議をしていましてね
幸乃助くんもいかがですか
ガチャ…


ピ
…さて
続けましょうか

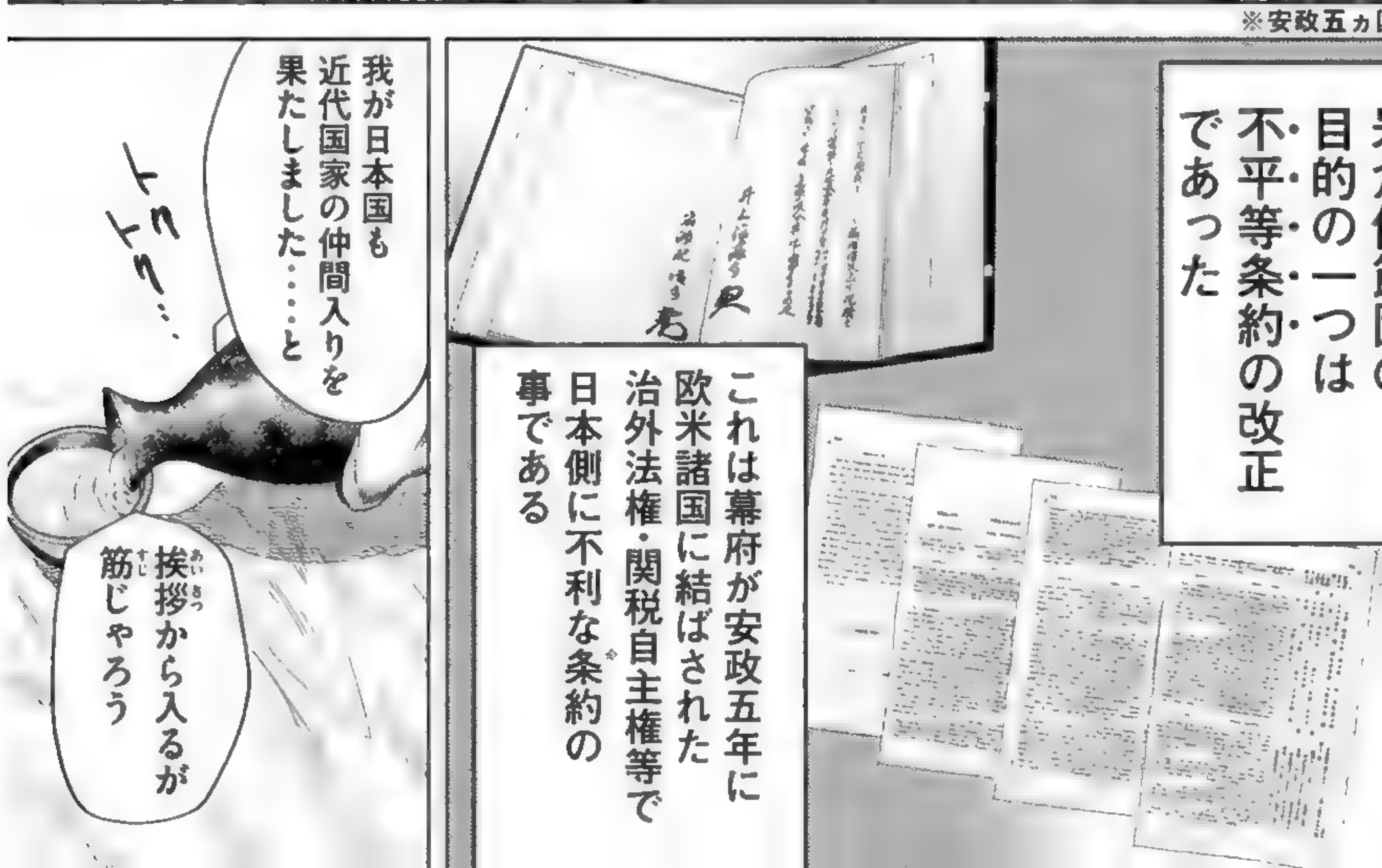

とにかく！



アメリカでは禁止じゃや
条約の話は



※安政五ヵ国条約。

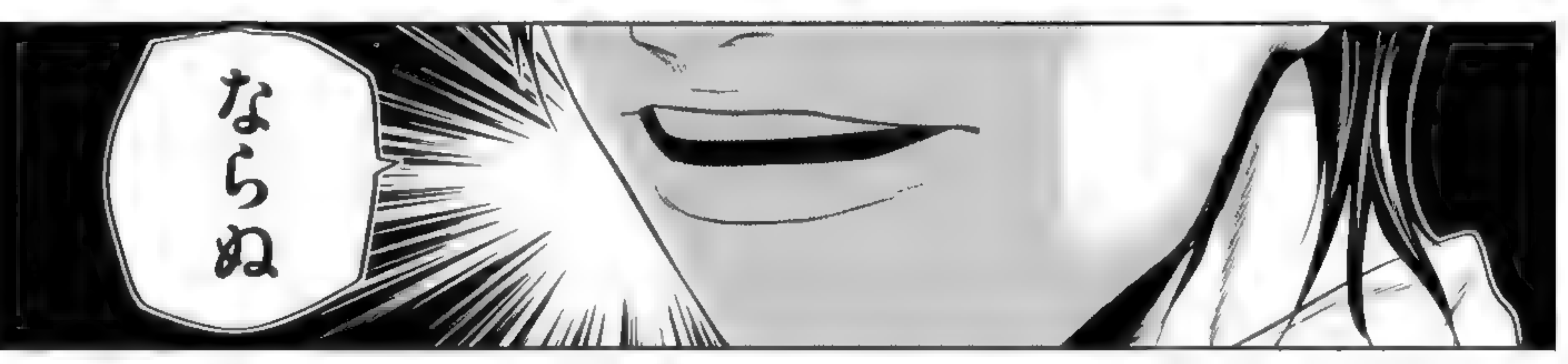


岩倉使節団の目的の一つは不平等条約の改正であった
これは幕府が安政五年に欧米諸国に結ばされた治外法権・関税自主権等で日本側に不利な条約の事である
我が日本国も近代国家の仲間入りを果たしました……と
トクトク…
挨拶から入るが筋じゃろう

しかし政府の
主要人物が
一年半も
日本を空けての
洋行ですぞ

ここはやはり
大統領との謁見
そして国務大臣に
打診くらいは・・・・

工部大輔
伊藤 博文





斬首刑など
その最たる例だ
先進国が知ったら
大いに眉をひそめる
でしょう
参議
木戸 孝允
今回の目的は
あくまで
視察にとどめる
べきです
うむうむ
木戸の
言う通り
やれやれ
……
致し方ない
よろしいかな?
大久保さん
……


皆さんは
日本を殺す
おつもりですか
帝国主義列強が
今アジア諸国を
次々と食い物にし
支配下に置こうと
しているのは
明らかです
ズリ…


ガシャアン!
なっ……何をっ……
条約改正を果たせぬというならこの船を今
沈没させても大差はない!!


大久保の決意に押され
会議は幕を閉じた
およそ
ひと月半にも亘る
船旅の中
慎重派の岩倉らは
懸念を示したが
大久保の
条約改正への意志は
頑として揺らぐ事は
なかった


そして
明治四年十二月――
ブォォォォ
……!!
あれが……


アメリカ……!!



ア



・・・・ああ
着いたか
歓迎してやれ
できるだけ派手にな
アメリカ合衆国
18代大統領
ユリシーズ・S・グラント
奴らの葬式だ
第十一話 終

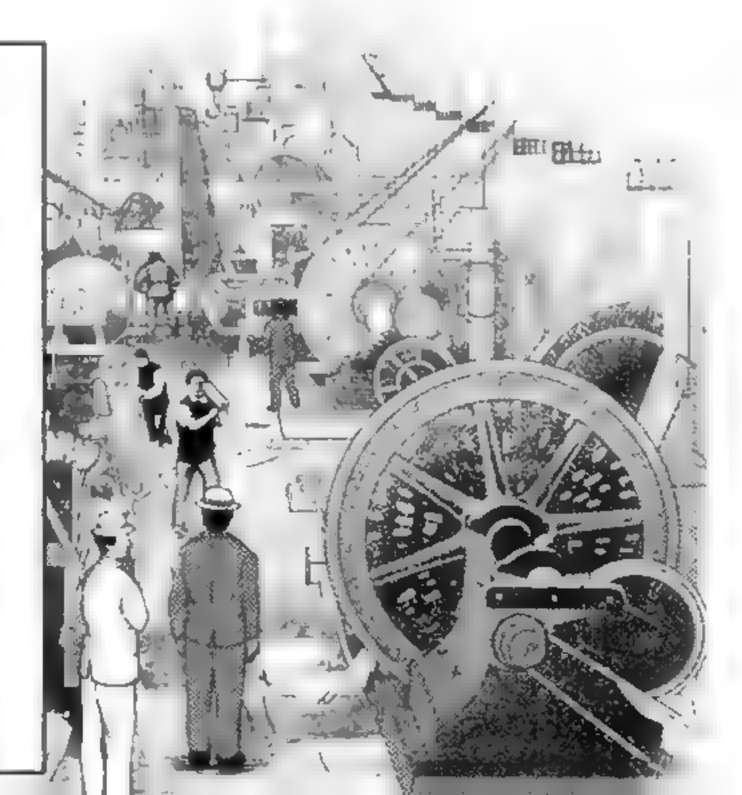

明治四年
十二月
サンフランシスコ
ドリ
ドォン。
第十二話
条約改正交渉
ワァアア


これは・・・・・
ああ
なんて美しい服なの
私にも見せて
ちょうだい

※幕府所有の軍艦。


万延元年
咸臨丸来航以来
十二年ぶりの日本船を
サンフランシスコ市は
熱烈に歓迎した


幸先よし・・・・・
という
ところか
さて
文明なるものを
味わいに行こう
ではないか


連日のパーティーに
施設見学にと
十日もの間
歓迎行事は続いたの
である

サンフランシスコ
グランドホテル








2階で
ございます
チン
ガシャン
えっ!?

「エレベーター」を目にするのも初めての体験であった
・・・・大久保さん・・・・

どうです・・・・？来た甲斐があったでしょう
ええ・・・・この国ならきっと見つかる・・・・

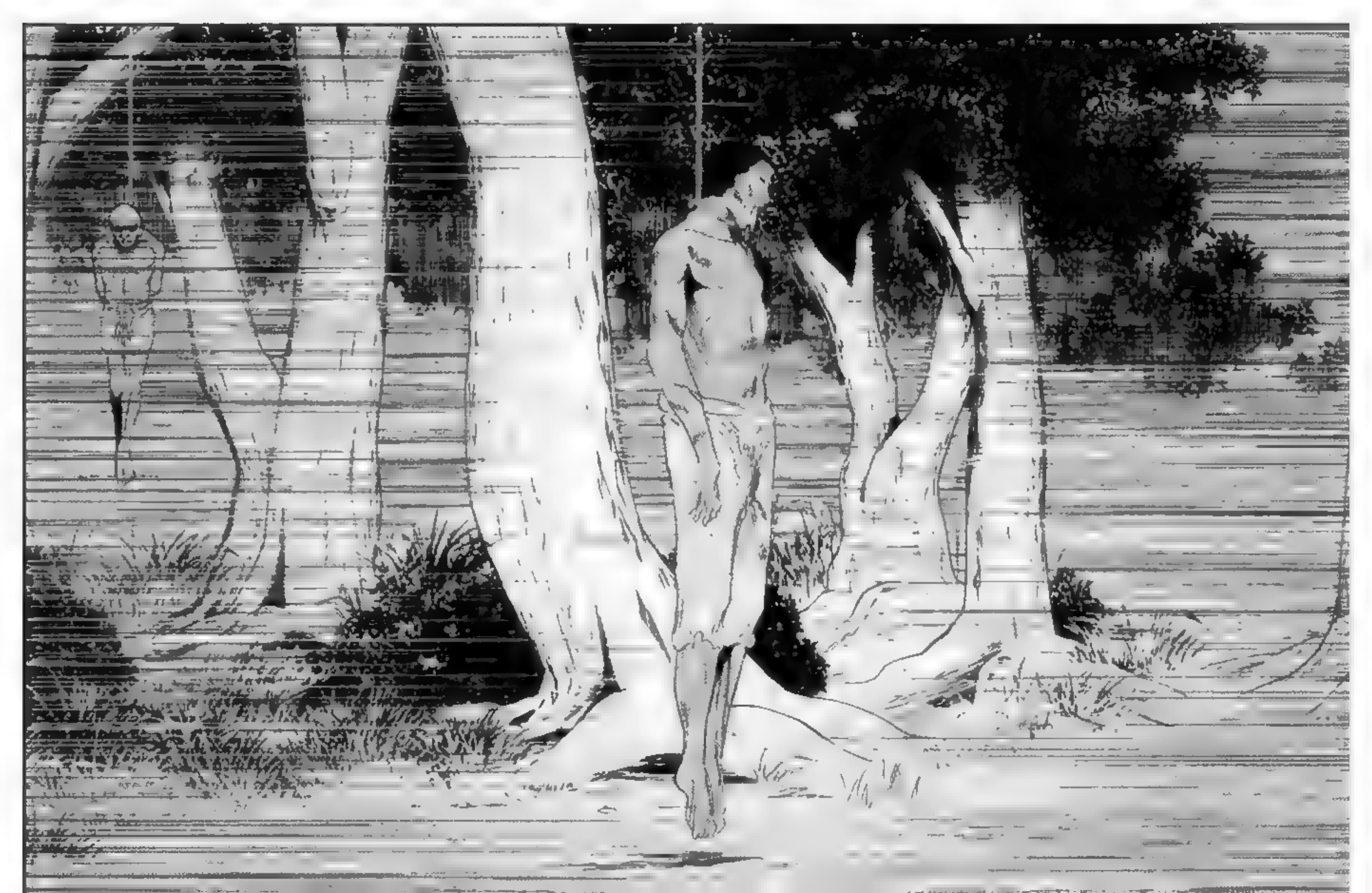
僕の求める答えが・・・・!!

ガシャリ
ガシャリ
ガシャリ




!


あれは・・・・!?




ギュッ
縛り首だな・・・・・
おそらく
私刑だろう
えっ・・・・・？

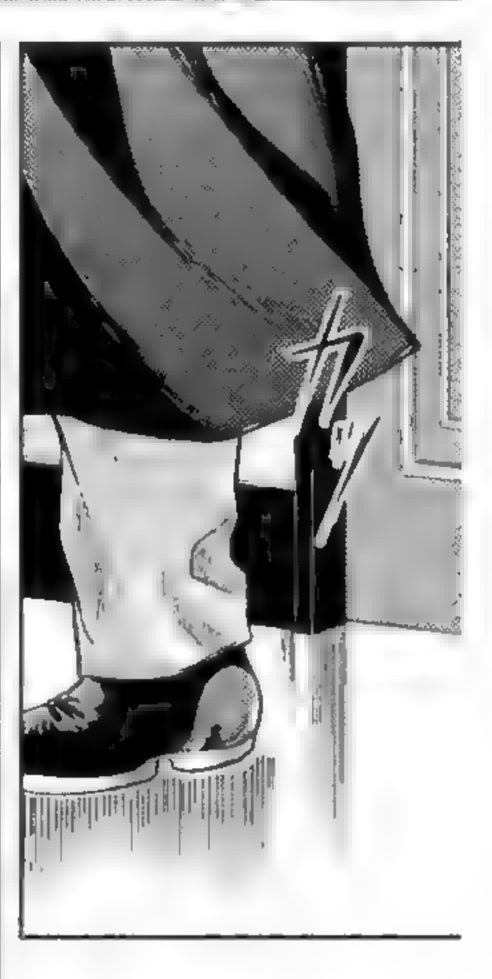

・・・・・木戸孝允さん
幸乃助くん・・・・・
だったかな


あまりこの国に
理想を見過ぎない
ほうがいいぜ
華やかな文明の
裏側に幻滅する
事になる


・・・・・どういう事
ですか？
フフ・・・・・


ゴゴ
そいつをこれから聞きに行くのさ
アメリカを最も知る男にな




カッ


南北戦争でのご活躍はお聞きしております
天皇陛下の国書を進呈できます事無限の光栄なり

グラント大統領

フム‥‥

アメリカ合衆国
18代大統領
ユリシーズ・S
・グラント




南北戦争(1861-1865)
エイブラハム・リンカーンを筆頭に奴隷制度廃止を求める合衆国北部23州が南部11州を打ち倒したアメリカの歴史上最後の内戦である
戦争に勝利し見事奴隷労働者は解放された
その功績を認められ陸軍大将から大統領に……ってわけだ
大統領は皆さまを心より歓迎しております
……
だが……アメリカを最も知るのは奴じゃない
その隣にいる国務長官


ハミルトン・フィッシュ
国務長官
ハミルトン・
フィッシュ
奴こそが現政権の中心人物だ


ミスター大久保
どうぞよろしく
こちらこそ


大統領夫人からのパーティーのご用意がありますさあ‥‥
いえ 結構


早速
本題に入らせていただく
条約改正の件です

おお!
それは素晴らしい!!

すぐにでも交渉を始めようではありませんか!





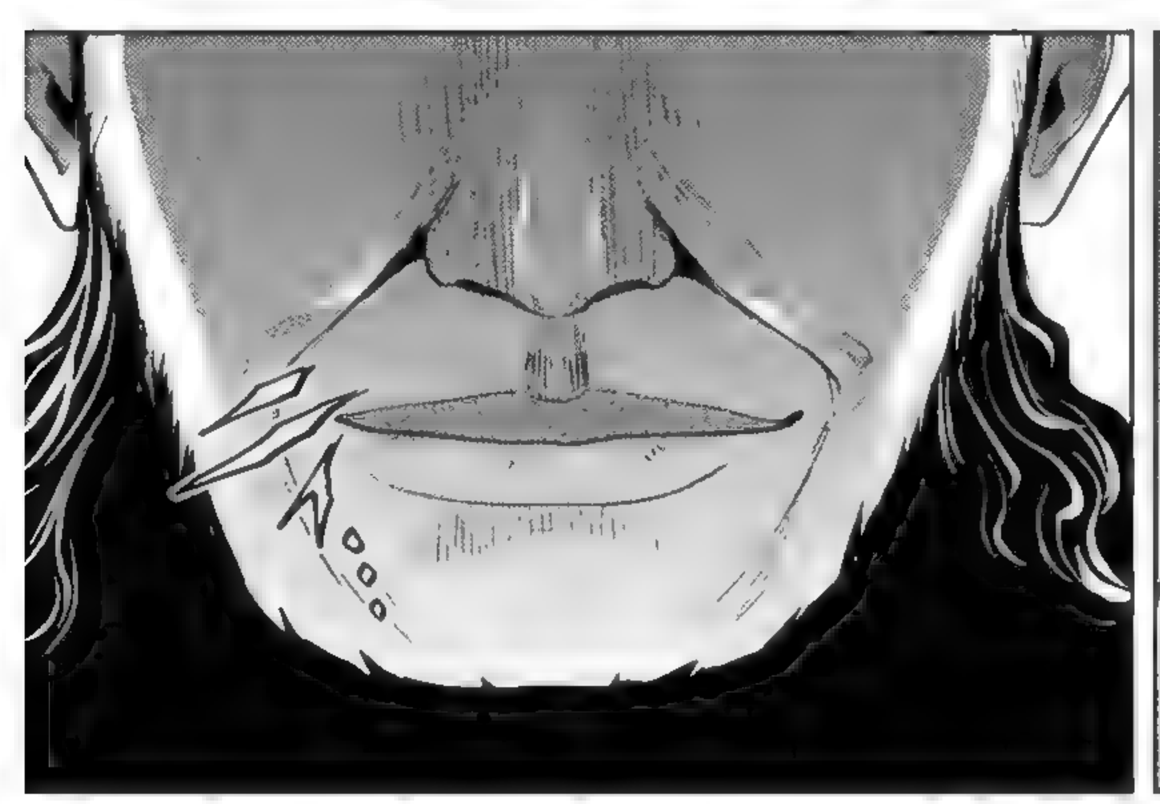



調印となれば
ミカド陛下の正式な
委任状が必要になる
話し合いの前に
拝見させて
いただけます
かな

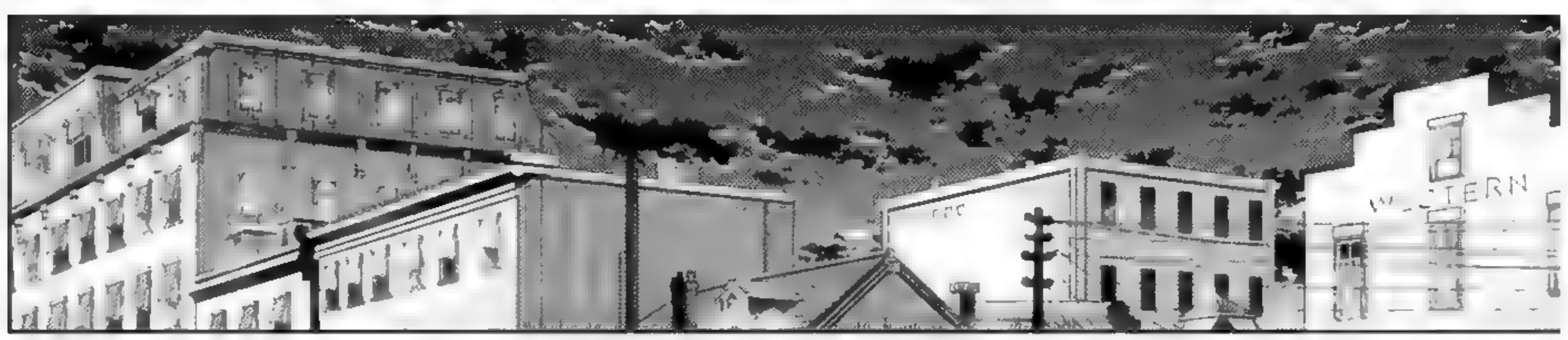



いやいや・・・・我々は
全権大使であります
委任状など
なくとも
・・・・・・


お持ちでない・・?




ミスター大久保
……
国際法というものを
ご存じか?


WESTERN


木戸さんっ……
いいのですか
勝手に
抜けだして……
構わん
どうせこんな
事になると
思ってたんだ


交渉は後手に
回ったら負けだ
どうだ 洋酒でも
飲みに行こう
じゃないか


なんとも……
自由な人だな
この人は

時に幸乃助くん

君はこの国をどう思うかね





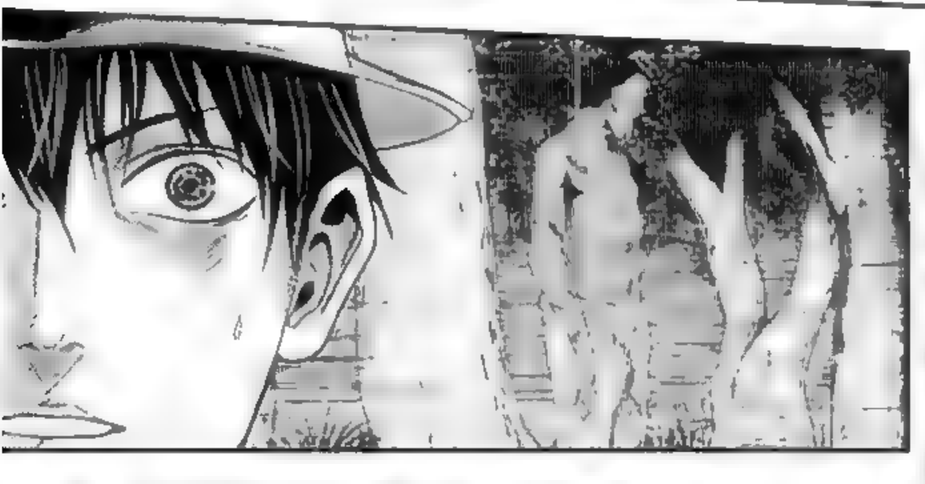



ハハハハハハハハハハハ


君は!!
実に
大馬鹿者だな!!


ドクン
…………!?


いったい今まで何を見てきた!!
あの車窓から見た光景が何を意味するのかわからんのか!!




木戸さんそれは…
来たまえ…

テキサスに行くぞ

そこにアメリカの真実がある





ですから今回は
話し合うだけで
調印等は後日に・・・・

大統領の任期という
ものがあります 急がねば
無駄話に終わりますぞ

しかしっ・・・・

とにかく正式な
委任状なくしては・・・・

決して交渉は
始められませんな








ガラ…
ここは・・・・??
「チキンランチ」
CHICKEN RANCH
アメリカの・・娼館だ
第十二話 終

しょ……
娼館(しょうかん)……!?

木戸(きど)さん……!!
どうして僕をこんな所に……

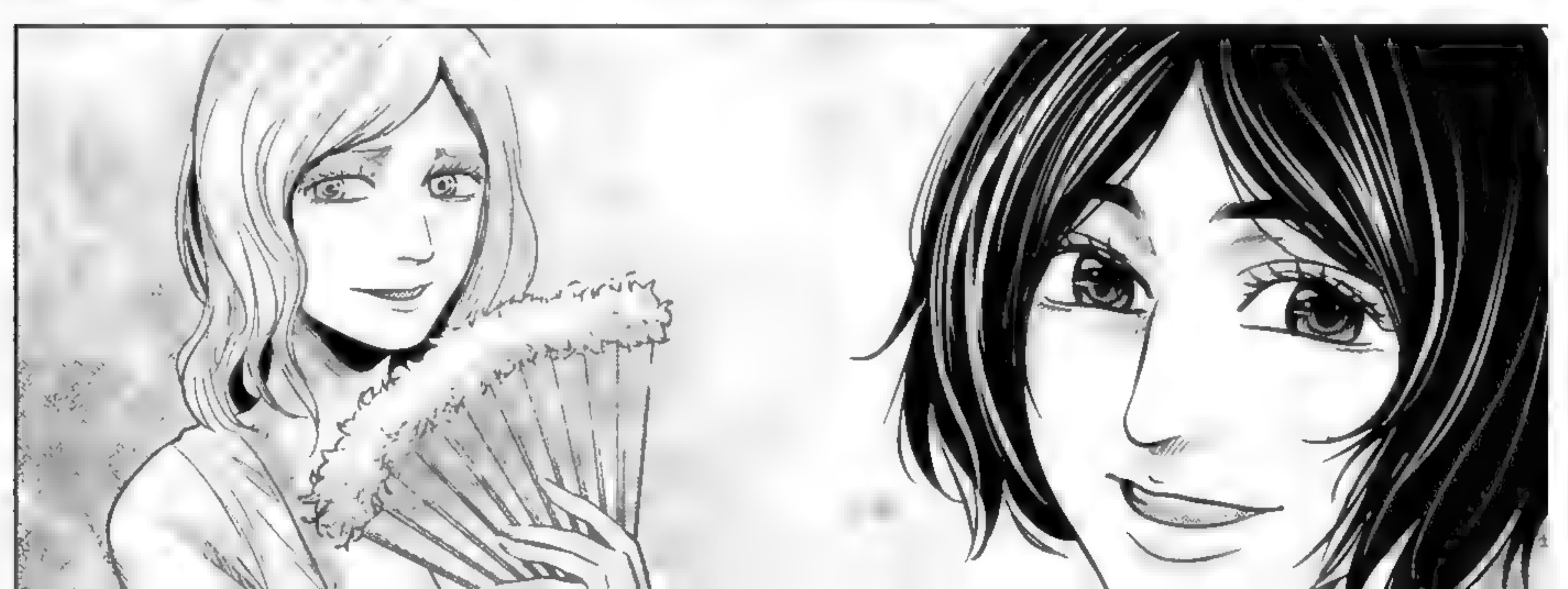
CHICKEN RANCH

第十三話 チキンランチ





セックスだ




・・・・・!!
やあやあ
ご婦人方!
東洋から はるばる
会いに来たぞ!




ようこそ
アメリカへ・・・・
安くするわよ
遊ばない?


だ・・・・
大丈夫だ・・・・!!
あなた
可愛いわね
こういう所は初めて?
怖がらないで


・・・・酒をくれ
あいよ




僕は何をしにアメリカまで来たのだ・・・・
キャアアアァ…
!


カッ


キャアアアアアァ…
イヤアアアア


!
……なんだっ!?
二階から……!?
お願いですわ……
もう‥‥
やめて……!!
!

何‥‥？
なんと言った
‥‥？

私にやめろと
命令したのか？



白人である
この私に!!
キサマら有色人種は
奴隷の身から解放
されたのだろう？
上院議員
ジム・チャールズ
ハァ…
ハァ…








客の
要望に逆らうな!!!





お帰りですか チャールズさま
いや ちょっと 忘れ物をしてな
あの女にはまだまだ 楽しませてもらうさ



ガチャ

・・・・あら!
お客さん?
少し待って

いや・・・・・・
いいんだ



・・・・つらく
ないのか・・・・？


さっきの男の
仕打ちを見ていた
客とはいえ・・・・
あまりにも非人道的な
暴行ではないか


あんな目に
あっても なぜ・・・・
おかしな事を
おっしゃるのね

私は今とても

幸せですのよ









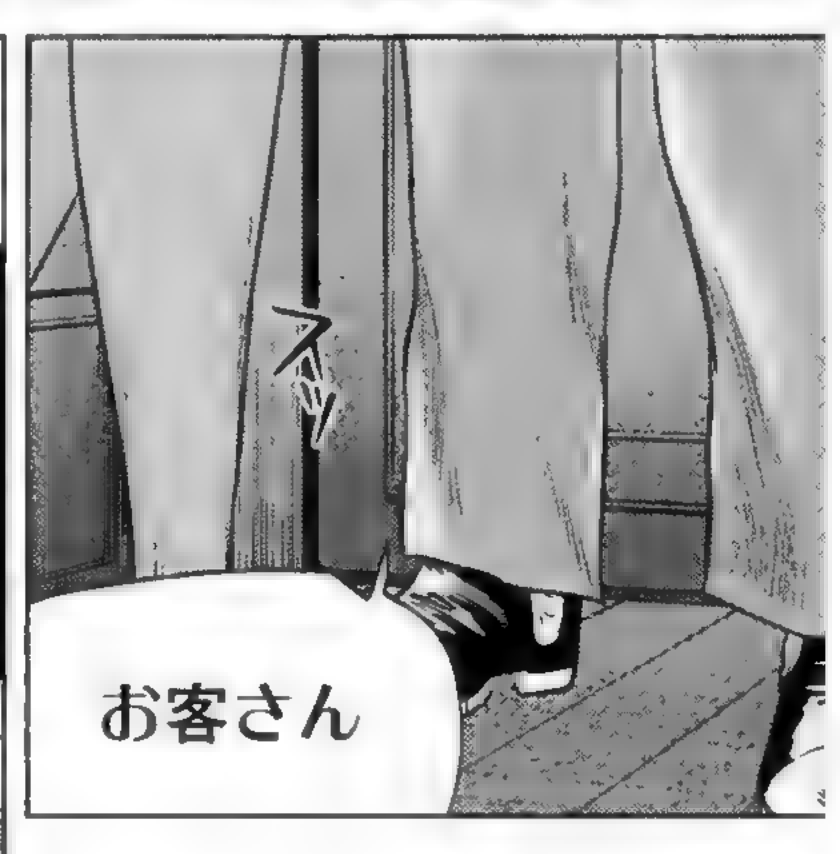




南北戦争後も
有色人種にとって
どん底の時代
は続いた——


白人至上主義を
標榜する
非合法秘密結社が
台頭して
きたのである


一八七六年には
南部で
「ジム・クロウ法」
が制定される
有色人種の
公共施設利用を制限し
白人と空間を
共にする事を
州の法律で禁じたのだ


スッ
お客さん


あなたは東洋人ね
私はアフリカ系
でも‥‥
そんな事
問題じゃないわ

肌の色で・・・・

人の価値は決められないもの





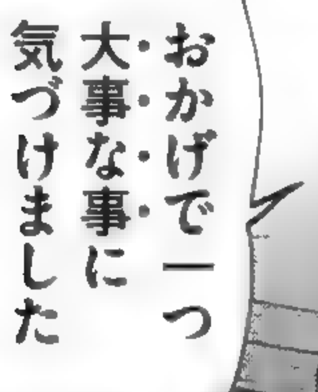

ははは
いいだろう
もう少し楽しもう
じゃないか!
もうヘトヘトよ
少し休ませて
ギィ…
ややや
幸乃助くん
天国で一人
浮かない顔だな
お眼鏡にかなう
女人に出会え
なかったかい?
……
……いえ
CHICKEN

……出会えましたよ

最高の女性に……!!











いったい何を取りに
戻られたんです?

知りたい
かね?

こいうさ

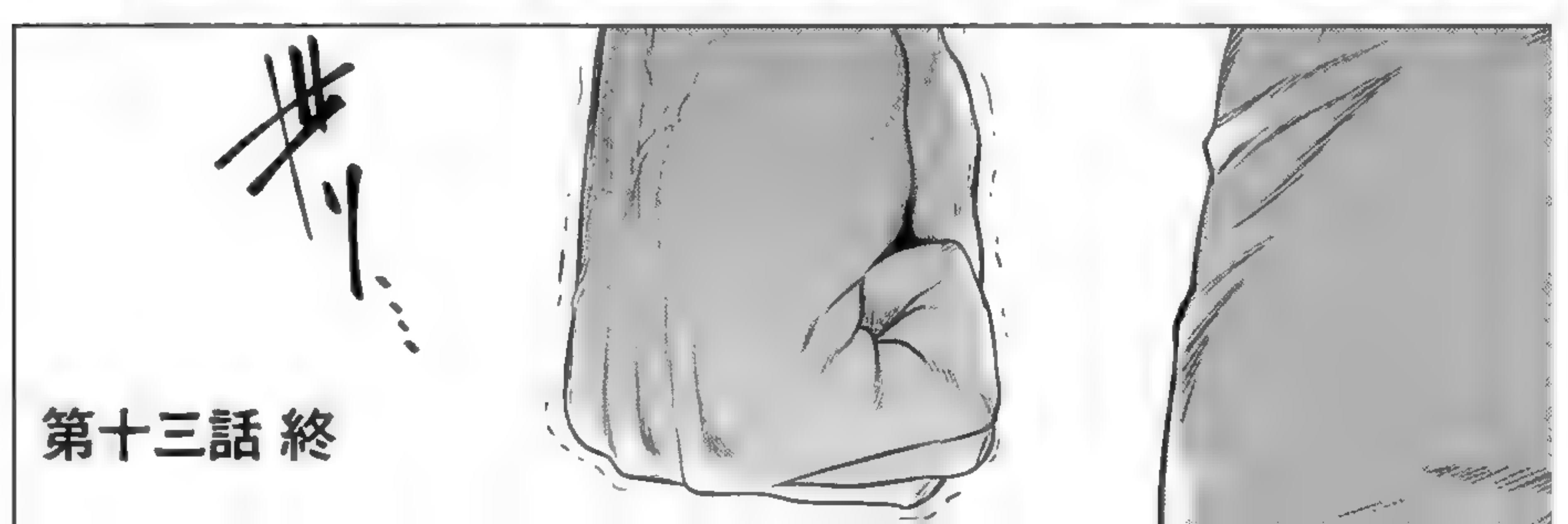
ガサ




「クリスター」という
中世で使われていた
浣腸器具さ
イノシシの胆汁を
入れるんだ
さあ
早く案内しろ!!

ひと晩中
聞くのだよ

あの女の
悲鳴をな!!



第十三話 終

ガシャ
ハァ…
ガシャン
ハァ…
ハァ…







嫌ぁあああ!!
やめてください!!
第十四話 剣（フルーレ）
!


……
これはこれは‥‥
noble
君もあの女を
買ったのかね?
‥‥そうだ


その女は
俺のものだ
手を出すな
・・・・・・!!
お兄さん・・!?
おお・・・・
そうかそうか!!
なるほど!!


ガバッ
きゃあああっ!!
!!
いやいや….
実に素晴らしい
アイデア
ではないか
ただし
殺してはいかんぞ
私に屍姦の趣味はない
肝臓や
腎臓のあたりは
避けねば….
そうだ!



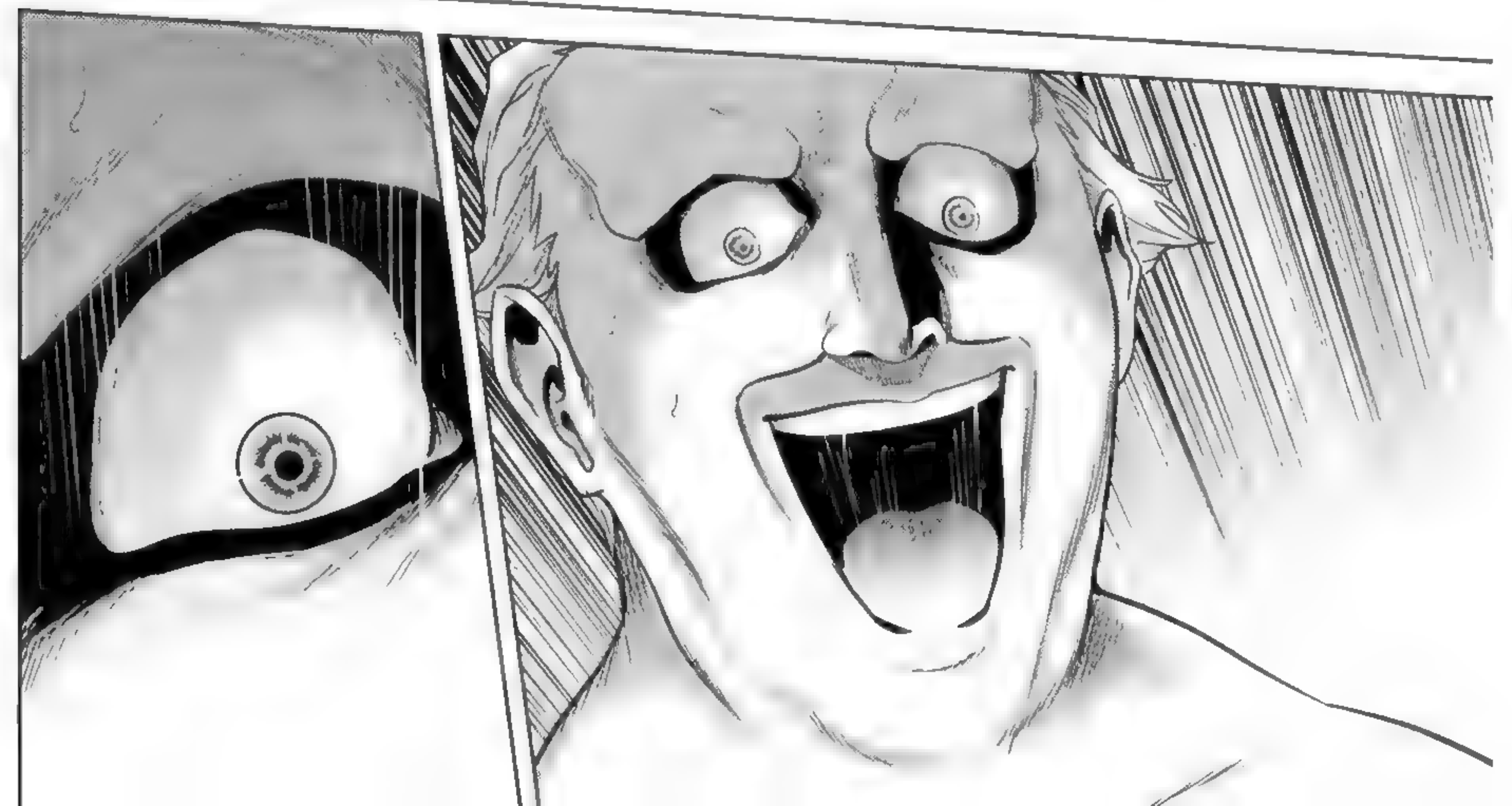
ニタァ
その剣を突き刺すのなら膀胱がいいぞ!!
神経が密集していてひと刺ししただけで動けなくなる!
……!!


膀胱とは通常1.5cm程度の
厚みがあるもの
なのだが‥‥
尿が溜まるにつれ
3mmまで薄く
なっていくのだ


衝撃で破裂して
しまうかも
しれんな‥‥
やめてっ‥‥
お願い!
いやっ‥‥

‥‥‥わかった
動くなよ

任せろ!
よく狙えよ!!
いやあああ!!





ぎゃああああ
ああああ!!
ドサァッ
あぎっ….
あひっ….なっ……
何を….
なんて事….
私になんという事を!!
ザッ


・・・・よく狙えと
言っただろう？
ひっ・・・・!!
大丈夫か
お兄さん・・・・
どうして・・!?
僕は・・・・

そこまでだ
ジャキ
立て!
東洋人
保安官の
リチャードだ
上院議員
ジム・チャールズへの
暴行容疑で
お前を
逮捕勾留する!

!!

・・・・おいおい
手をかけさせるな

ここで蜂の巣に
されたいのか?



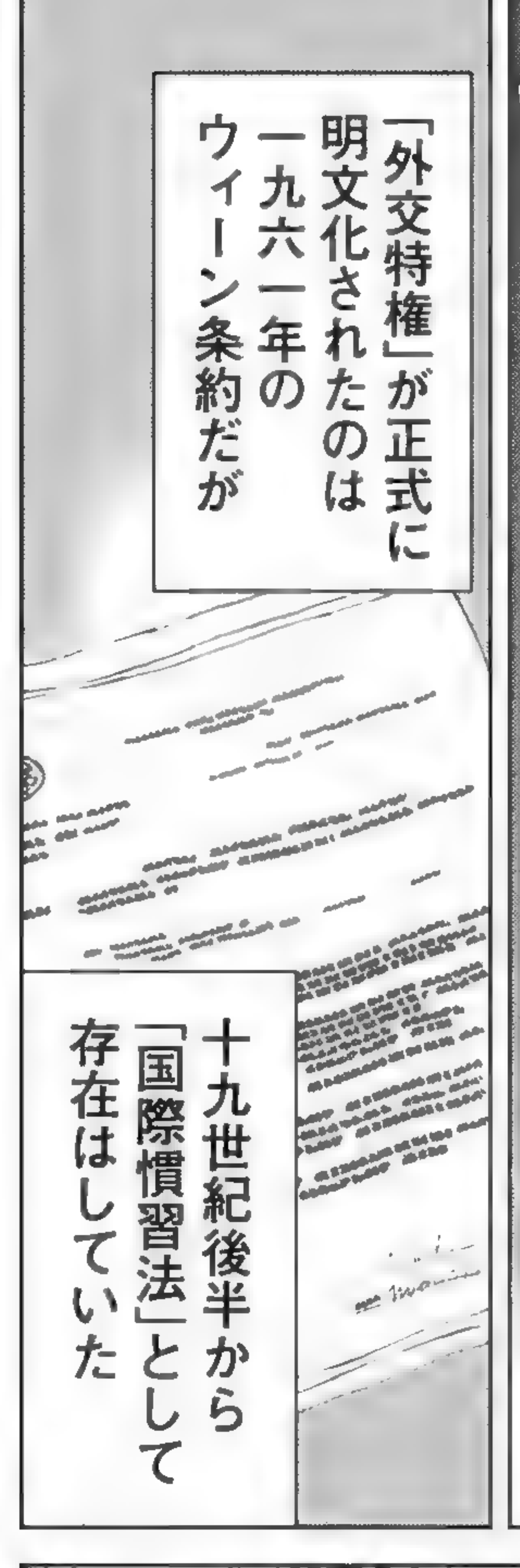

ミスター
チャールズ
国際法
というものを
ご存じか?


!


僕はただの東洋人じゃない
外交使節団の一員として
この国に派遣された‥‥


外交官
なのだよ
この外交資格証明を
持っている限り
僕には


外交特権が
発動する‥‥!!
パサ…


「外交特権」が正式に
明文化されたのは
一九六一年の
ウィーン条約だが
十九世紀後半から
「国際慣習法」として
存在はしていた


これは外交官が
訪れた国での権利を
保障するものだ
外交官の身体不可侵
刑事裁判権の免除
つまり‥‥

この場でお前を殺そうとしても‥‥
誰も僕を止められない!!










・・・・嫌よ・・・・
これきり
なんて・・・・


「ありがとう
お兄さん」
「あなたのおかげで
気づいたわ」
「私は一人
じゃない」
「きっといつか・・・・皆が平等に
幸せに暮らせる社会が作れる！」
南北戦争が
終結したのが
一八六五年



「我々の目の前に残された偉大な事業に
ここで身を捧げるべきは
我々自身なのである」

エイブラハム・リンカーン
1863.11.19 ゲティスバーグ演説より

第十四話 終

明治元年

第十五話 沙夜と太七

そろそろ始めるぞ

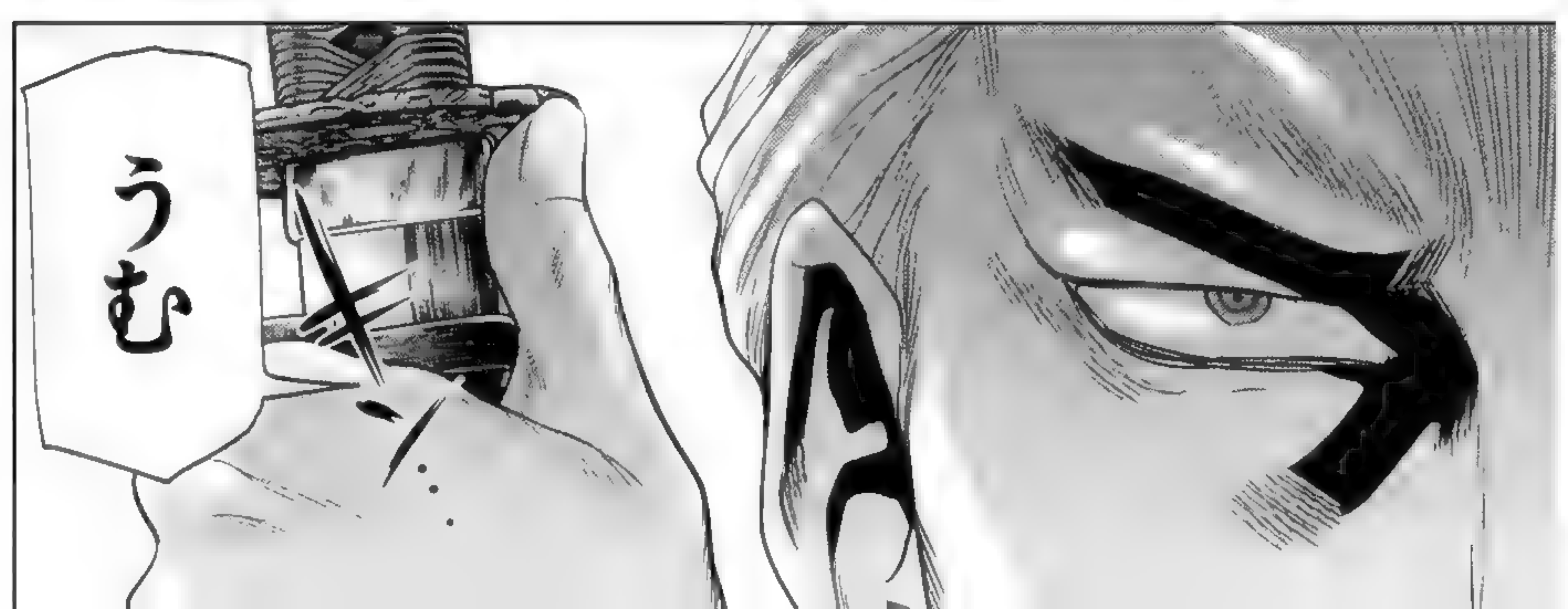
どうだ？首尾は

スッ

はい 父上

全て縫い終わりました

洞門 沙夜
十二歳





※1 死体を使った試し斬り。

※2 二つ重ねた死体を斬る事。





どうだ お前も刀を 振ってみるか？
ブン
ブン
……やはり無理か
沙夜よ







首斬り家の私が・・・・・

嫁入り・・・・？



おい見ろよ!! 洞門の娘だ!
近づいたら呪われんぞ!!



人々にとって恐怖の対象であった洞門家だが
幼き娘である沙夜は時に子供たちの好奇心の標的となった



!!


俺も斬ってみろよ!!
あっち行け死神――!!
おーい!!

さよ——!!

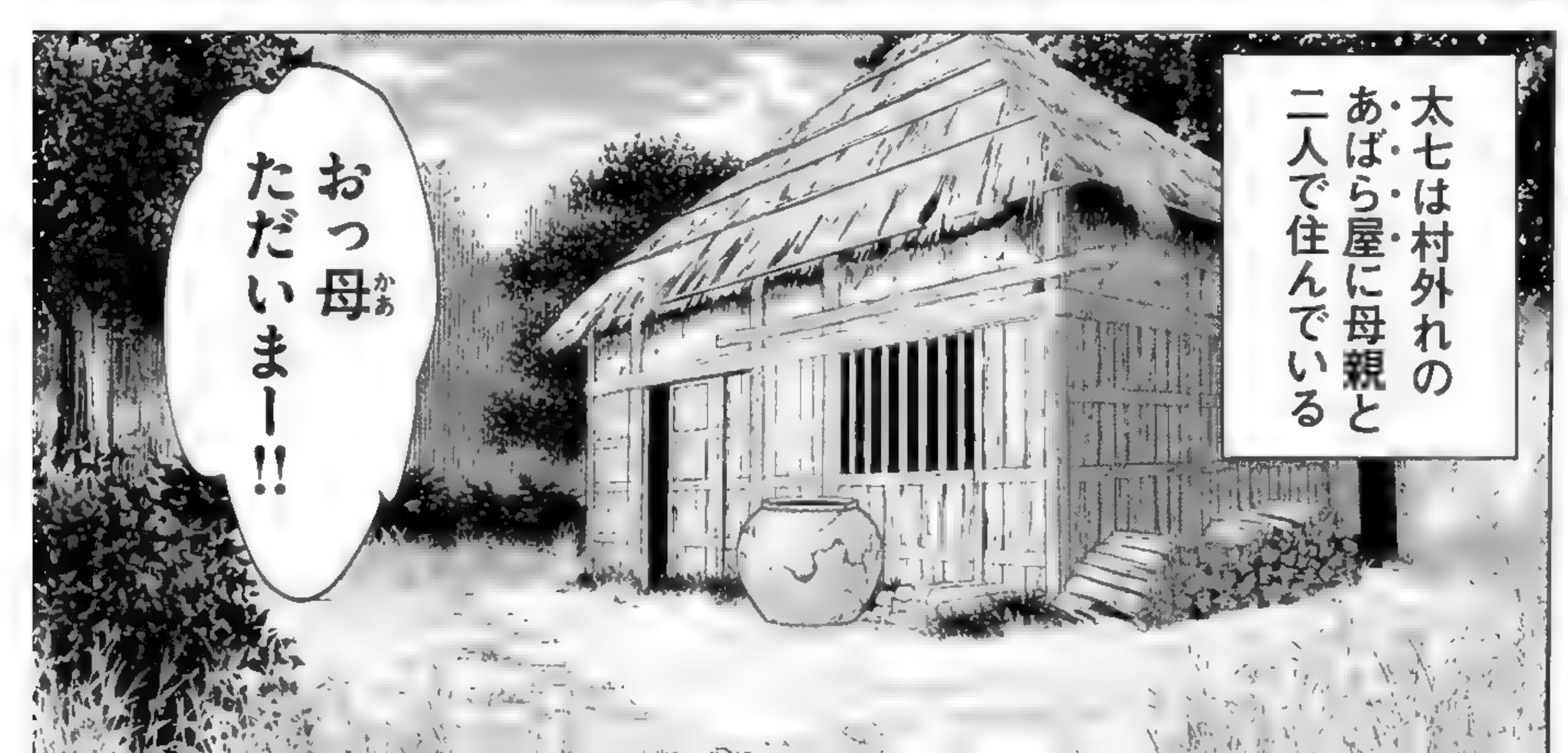
どこいぐん?

太七（十四）





あたっ!!
たっちん大丈夫!?
はがが・・・・
さよ〜〜〜どこだあ!?
クスクス…



お帰り…
あら さよちゃん
いらっしゃい
ゴホゴホ
ぺこり
ほら
いいから
寝てろって!!
山でいっぱい
山菜とって
きたっちゃ!!





※結核の事。




おっ母
できたぞ!!
食ってけれ!!
ありがとう…
あんまり近づいちゃ
いけないよ
うつって
しまうからね
いいから
食えって!!

食っていくのも
やっとの貧困層に
病を治療する術など
あるはずもなく

……
おいしい!
ありがとう
太七 沙夜ちゃん

え…?

沙夜ちゃん
みたいな
素敵な子が
太七の嫁に来て
くれたらねぇ
なんて…
夢みたいな事
言っちゃいけないね


バッ…バカ!!
何言ってるだ
おっ母!!
ななっ
なんでおらと
さささっ……
沙夜がっ……!
はわわっ…!
あらあら
赤く
なって
おっ母!!

……フフッ……

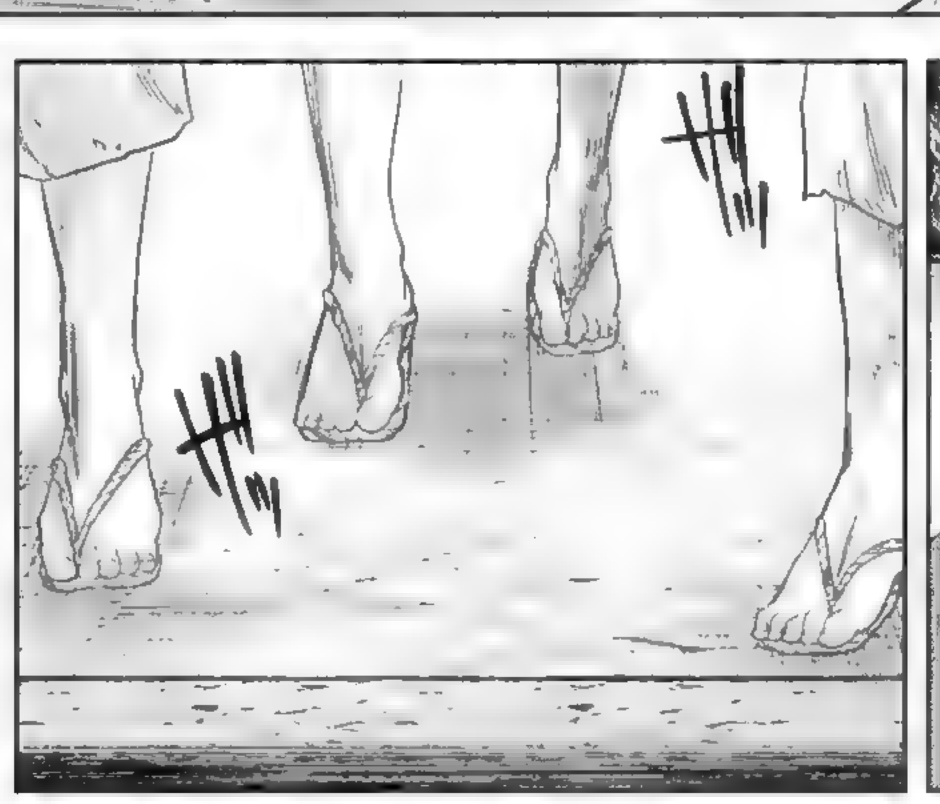
アハハハッ……






数日後
多いな今日は
これで
何人目だ
八人です
父上


まったく
年の瀬は駆けこみが
多くて困る
年内に処刑
したいという意向
なのでしょうか
だろうな
去年など一日で
三十人も斬らされた

次の者を
はっ

ザ
ザ

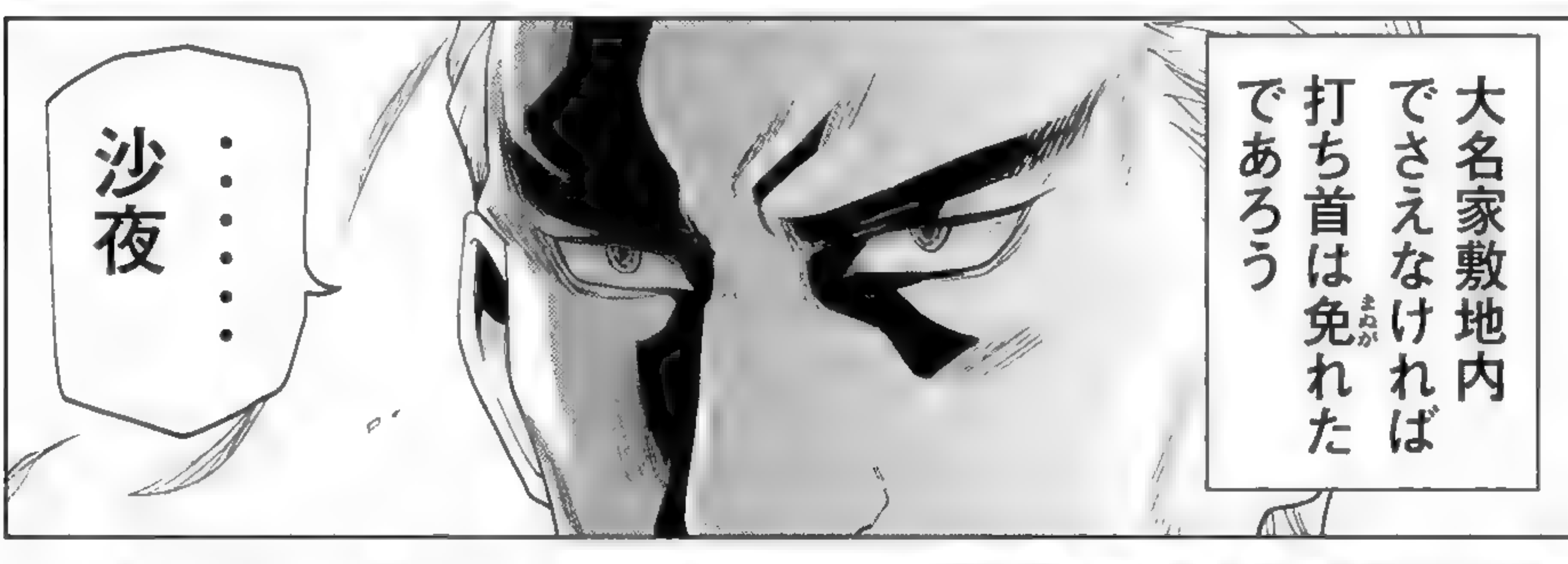
罪状は大名家
敷地内への不法侵入
加えて暴行です
ギィ…
争いになった際
家主に
怪我を負わせた



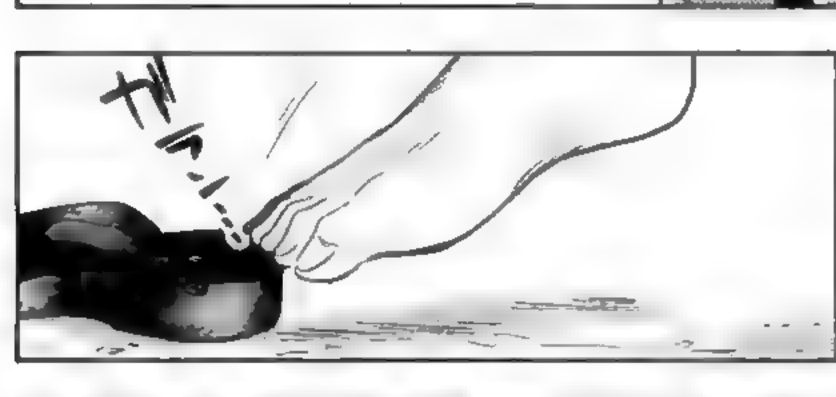
ガタ
ガタ
ガタ
……たっちん……?


・・・・・・!!
さ・・・さ・・・さよ・・・?
・・・どうした知る者か
・・・・・・
・・・どうしてっ・・・
おら・・・おら・・・知らなんだ・・・人ん家の柿の木だって・・・!
母ちゃんの好物だから・・・食わせてやりたくて・・・
逃げようとして突き飛ばしちまった・・・
近代刑法が定められたのが明治四十年


それ以前の時代
法典を持つのは奉行のみで
庶民には法律そのものが
公開されていなかった
ゆえに どんな罪で
どんな刑に処されるかは
知るところではなかったのだ


大名家敷地内
でさえなければ
打ち首は免れた
であろう
……沙夜……


天命とは
時に非情な
ものだ
見る事もない
下がっておれ


ガラン…


……父上



私に・・・・
・・・やらせてください
ザッ
キ
・・・沙夜・・・・?


……さよ……
さよ……
頼む……



……母ちゃんに……
ごめんねって伝えてけれ……
もう……起き上がれもしねえんだ……母ちゃん……
柿食わせて元気にしてやるって……約束……
守れなくて
ごめんなって



たっちん


止められぬ運命ならば
せめて
私がその血を
浴びよう――
変えられぬ
この世の
理ならば
私が背負おう
無念に散り行く
その魂を
最後の時まで
母を想い続けた
その姿を
私の胸に
刻みつけよう


その死に様を
永遠に忘れぬように――
第十五話 終

明治六年二月

岩倉使節団一行は
八ヵ月の
アメリカ滞在の後
約七ヵ月かけて
欧州各国を回っていた

第十六話 苦痛無き死刑

ふ――

しかし――







使節団一行は
意気消沈
していた

条約改正の
困難さだけでなく
世界と日本の格差に
愕然としていたのである

倒幕という偉業を成し遂げた
大久保でさえ
「こうして西洋を歩いてみると
我々はこんな進歩の世には
通じない」と
こぼしているほどだ


……ですが……まだ帰れません
あの人物に会うまでは
……あの人物？
これから向かう先にその者はいます
ええ
そこはかつて散り散りになった小国の一つに過ぎなかったが
わずか数年後圧倒的国力で世界の列強に肩を並べる大国と化した

ドイツ帝国です

エッセン
ドイツ1の工業都市





これは・・・・なんと巨大な軍事工場・・・・!!
敷地は約120万坪二万人の工員が働いています
米英に比べれば後進国と思われているドイツにこれほどの工場があるとは・・・・



あれを見てください幸乃助くん



・・・・？古ぼけた小屋ですね
物置か何かでしょうか？



あれが創業当時のこの工場なのですよ
え!?

ドイツとは
元々 三十五の君主国と
四つの都市からなる
連邦でした

ドイツ連邦(1815～1848)

リューベック
ハンブルク
ブレーメン
ハノーファー
ベルリン
プロイセン
ゲッティンゲン
ライプツィヒ
ケルン
ヴァイマル
ザクセン
イエーナ
ブレスラウ
ヘッセン
フランクフルト
プラハ
エアランゲン
バイエルン
ヴュルテンベルク
ミュンヘン
オーストリア
ハンガリー

しかし ある人物が
このバラバラになった
国を一つに
まとめ上げた

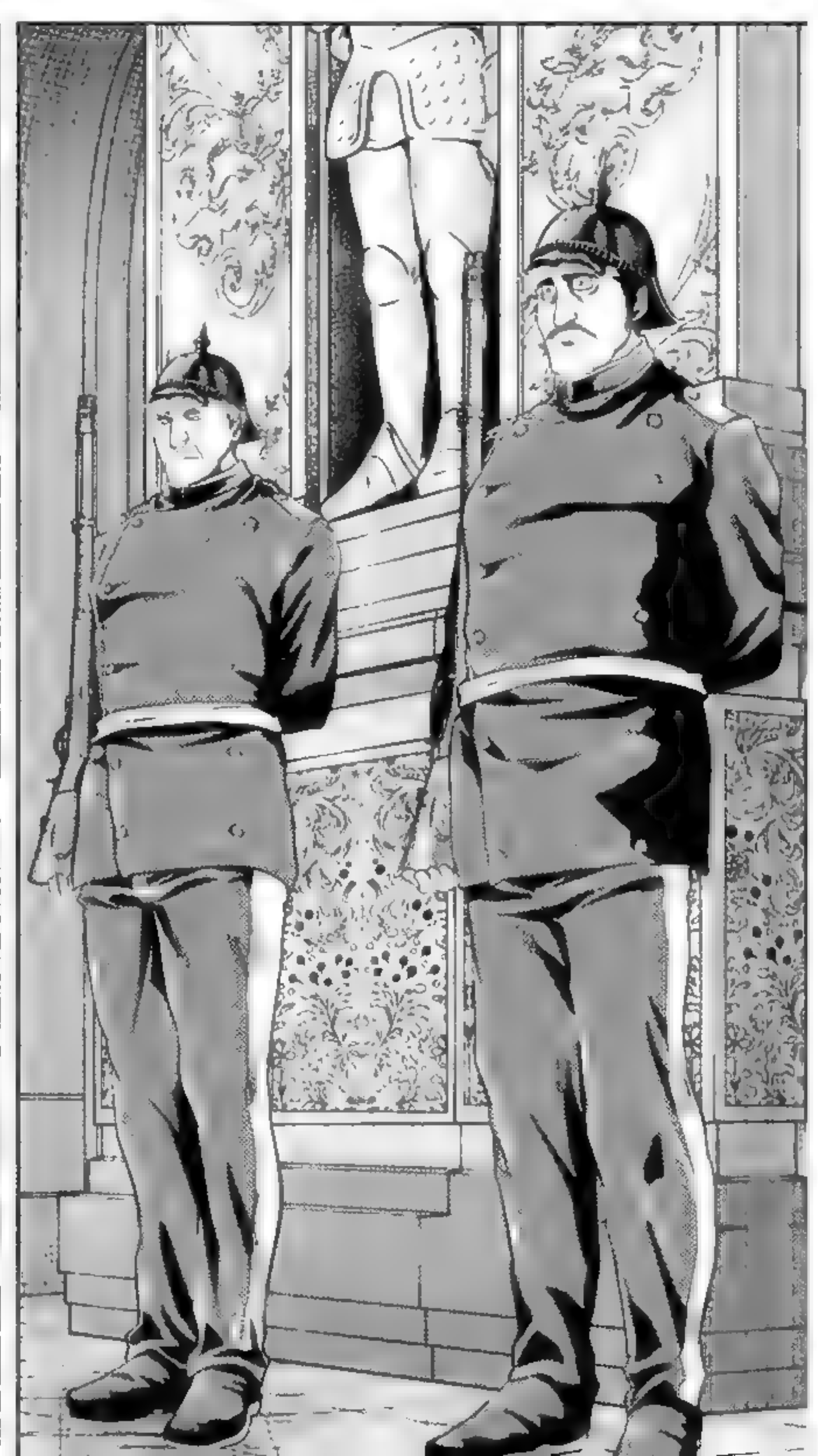





ドイツ帝国
宰相
オットー・フォン・ビスマルク
ビスマルク……
このあふれ出る熱量はその人物によるものなのですか……!!
さあベルリンへ行きましょう
私は彼に会うために来たのですよ


首都ベルリン

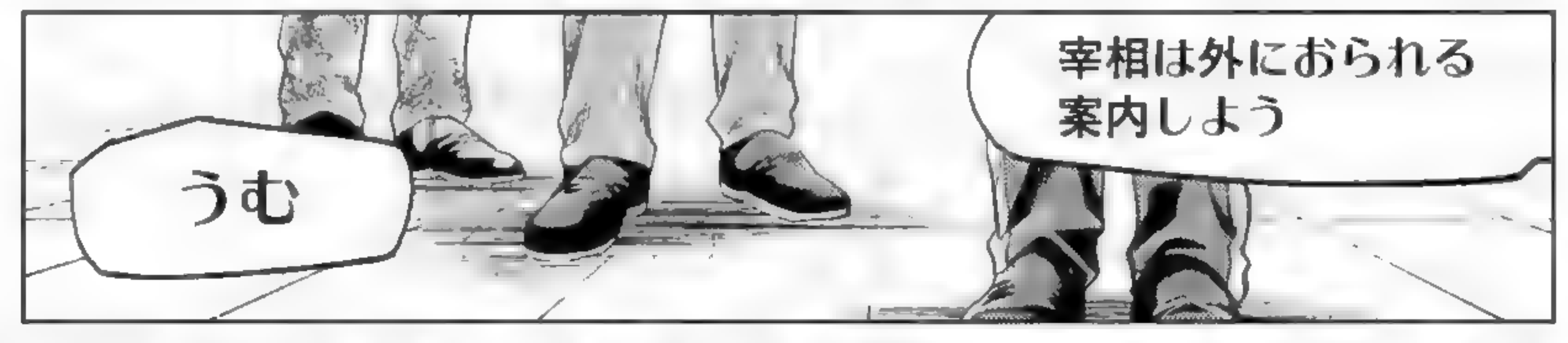

…物々しい雰囲気だな
歓迎されていないのだろうか

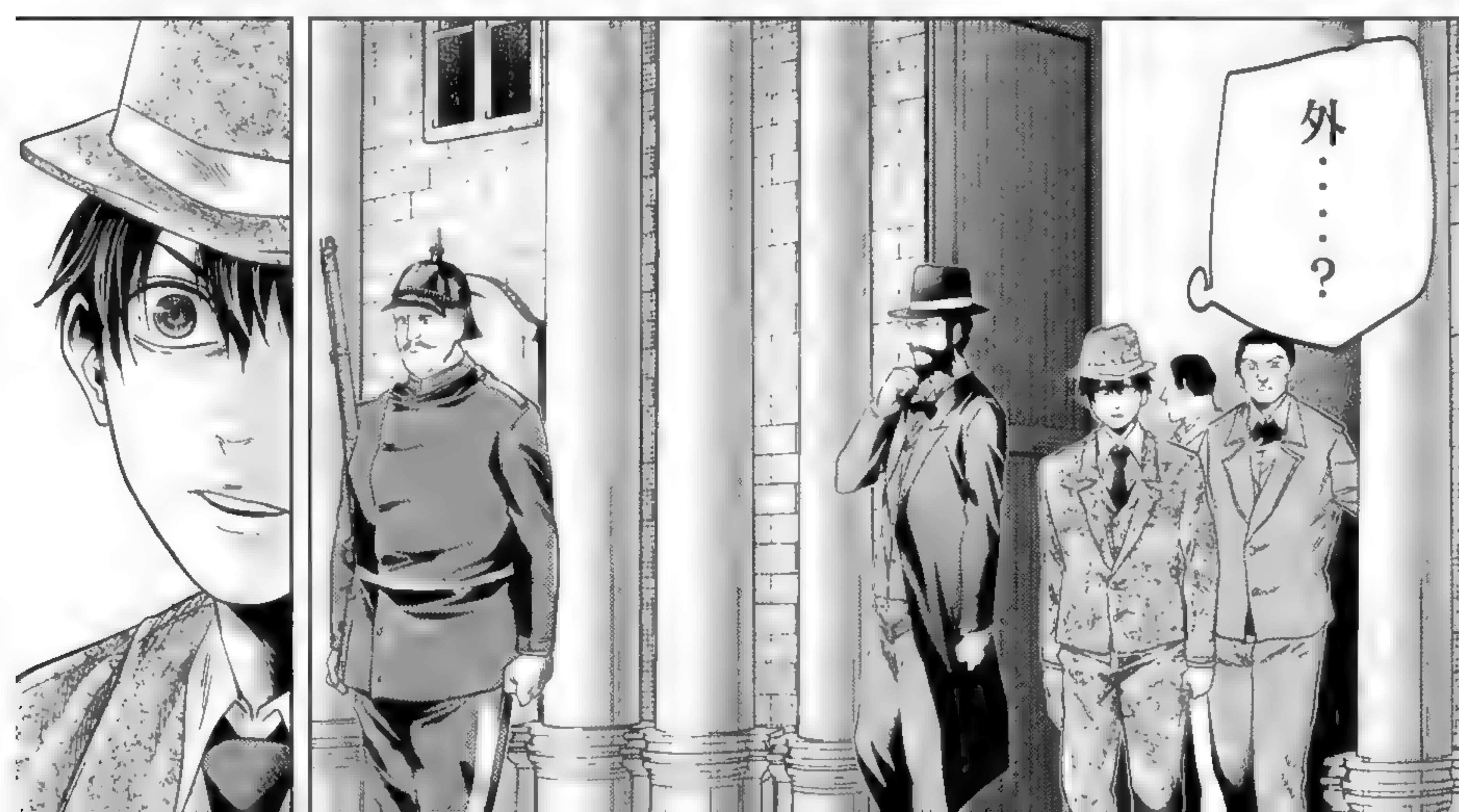



ようこそドイツへ
ありがとう
ビスマルク宰相はどちらに?


……!!


ビスマルクの名を聞いただけで空気が変わった
どれほどの威厳を持つ人物なのだ……


宰相は外におられる
案内しよう
うむ


外……?




なっ……
なんだ
これは!!


ギロチン


「苦痛を伴わない死刑」を
目指し 18世紀にフランスで
誕生した断頭台である
19世紀になると改良型が
ドイツにも持ちこまれた


日本人がギロチンを
目にした初めての
瞬間であった
あれは……
刃か?
血が付いて
いるぞ
ザワ
ザワ


ガコン

ブシャア

!!

うわっ!!





ビスマルクの体制下の軍法は大変厳しいと聞きます

脱走 敵前逃亡はもれなく‥‥

コロ‥

死刑に処す




私の流儀だ

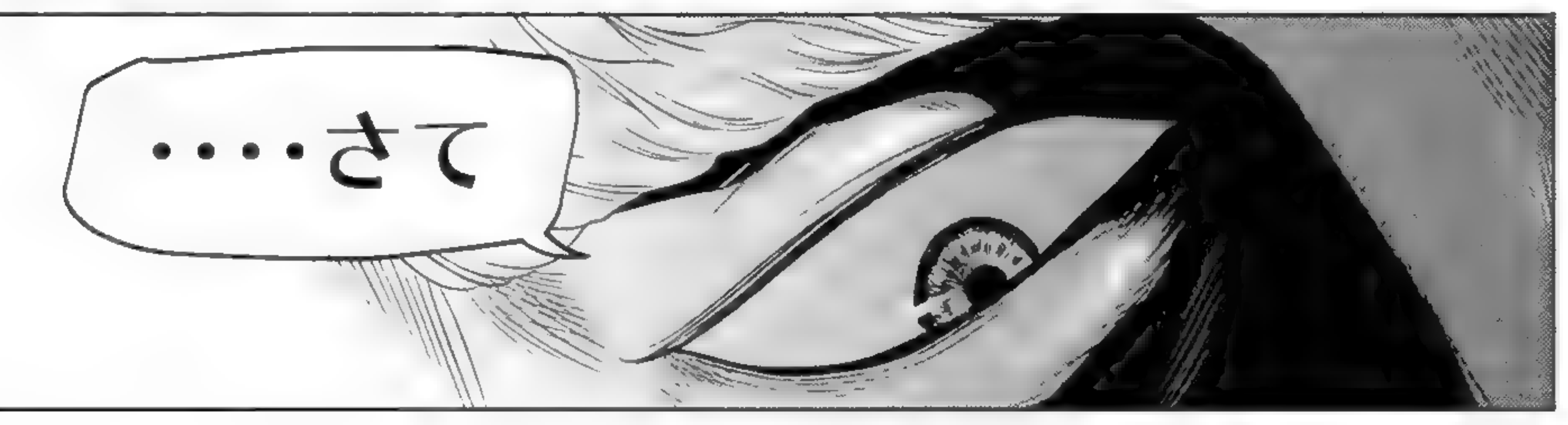
なっ・・・・

なんという巨体!!

なんという威圧感!!

これがビスマルクか!!

ドイツ帝国宰相
オットー・フォン・ビスマルク



はるばると何用だ?
か弱き小国の客人よ



第十六話 終

アジアに浮かぶ
ひ弱な小国が
日本だと
聞いているが

世界無双の軍事大国
ドイツ帝国に
何用かな?

第十七話 鉄と血



※旧ドイツ東部の貴族階級。





無駄足・・・・?

左様

だからこそ
諸君らの
無駄足ぶりには
閉口しておる





現実は
弱肉強食である








小国の
屈辱を!
諸君らは条約改正のために
各地で交渉を
試みているらしいが
その結果は悲惨な
ものだったろう


……うっ……!!


当然である
足りぬものは
何かわかるか?



国際法への
知識か?
大国相手に
物怖じせぬ交渉力
か?
…否!!


国力である
グシャッ

欧米列強に
引けを取らぬ国力
なくして交渉など
行えようか!!

まず富国強兵に
努めることが
先決なのだ!!






鉄と
血によってのみ
解決される!



………!?



‥‥それは一体
どういう意味でしょうか

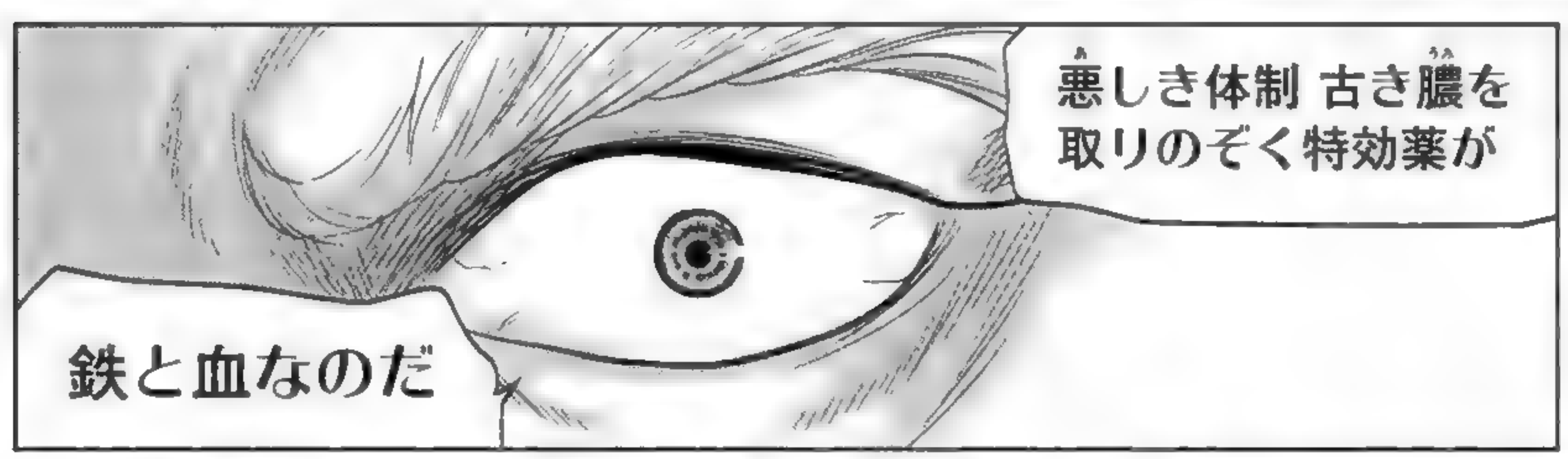


ニヤ



鉄は国を支える
工業 流通
あらゆる文明の礎となるのが
鉄である


血は
国を変える
長き世界の歴史の中で
血を流さずに
成された革命が
あったであろうか


悪しき体制 古き膿を
取りのぞく特効薬が
鉄と血なのだ






鉄と……
血!!!




・・・・なるほど
そのお言葉
染み入りましたぞ


行きましょう皆さん
我々が
日本で成すべき事が
山ほどある




待て

教えておこう大久保よ
日本が強国を目指し
国力増強に
励むのならば

我らがドイツ帝国は
貴国にとって
最大の友好国と
なるであろう







明治六年五月
日本






覚悟はよいか
洞門沙夜
……ああ
やれ
ブツ


!!
ギギッ
ギッ
──っ
う・・・ぐ・・・・・
ギッ
ギッ
くぅうっ・・・・・!!
ギッ
第十七話 終

明治に巣食う悪魔との遭遇。

さあ！お吸いになりんして
・・・・・？
気いやるにはこれが一番すえ

ドイツから帰国し休息中の幸乃助は、遊女の勧めで「阿片」を吸ってしまう。

それは、人を人でなくする〝悪魔の薬〟。



首を斬らねば分かるまい

第3巻 2020年8月5日㊌発売!!

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、
一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、
　コミックス発売当時のまま掲載しています。

首を斬らねば分かるまい（2）

2020年5月1日発行（01）

原作　門馬司
漫画・漫画原作　奏ヨシキ

発行者　森田浩章

発行所　株式会社 講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽2-12-21